

昭和 37 年度

事業成績書



水産庁北海道さけ・ます孵化場

刊 行 の こ と ば

昭和37年度の事業成績を報告致します。

昭和37年度は、8億粒採卵を目標とする拡充計画実施の初年度でありますので

- ① 積極的な親魚捕獲の増加
- ② 蓄養技術の向上による採卵の増加
- ③ 孵化放流数の増加
- ④ 稚魚の飼育放流
- ⑤ 河口通過量の把握
- ⑥ 事業に関する研究調査

を重点として事業を実施したのであります。

先づ補獲場については網走川、標津川、徳志別川、3河川の補獲場を下流に移転すると共に蓄養池を整備して捕獲採卵増を期待し孵化場は伊茶仁、網走徳志別川の三事業場を拡充整備致し孵化放流の拡充を計つたのであります。

本年度の秋漁獲されるさけは昭和33年の5億6千万粒採卵時の稚魚から4年魚として回帰して来る事であります関係上大いに期待したのでありますが沿岸海域の漁況が非常に良かったにも不抱河川沂上が少いと云う結果に終わりました。(捕獲数37,098)

今後吾々は更に工夫改良を計つて捕獲採卵数の増加を計ると共にその放流効果の増加をもはかる様にと努力したいと考えてあります。

本成績書の内容については数字の羅列に終る事なくその意味及び経過について記録し後日の参考になる様意図致しました。

忌憚のない御叱正と御鞭達を賜れば幸甚であります。

昭和39年4月

北海道さけ・ますふ化場長

三 原 健 丈

水産庁北海道さけ・ますふ化事業成績書

目 次

1. 鮭鱒捕獲事業実施体制	1
2. 鮭鱒孵化放流実施体制	3
3. 鮭鱒増殖事業経費	4
4. 北海道鮭鱒孵化場の現員	5
5. 鮭鱒漁業の現況	5
(1) 規制区域内漁獲量	6
(2) 規制区域外漁獲量	6
(3) 沿岸漁獲量及び規制区域内外漁獲量	6
(4) 地域別沿岸漁獲量	7
6. 鮭鱒増殖事業	7
(1) 鮭捕獲採卵概況	7
① 支事業場別鮭親魚捕獲採卵成績表	10
② 海区水系別鮭親魚捕獲採卵成績表	16
(2) 鮭孵化放流成績の概況	22
① 支事業場別鮭孵化放流成績表	22
② 海区水系別鮭孵化放流成績表	28
7. 鱒増殖事業	34
(1) 鱒捕獲採卵概況	34
① 支事業場別桜鱒、樺太鱒親魚捕獲採卵成績表	36
② 海区水系別桜鱒、樺太鱒親魚捕獲採卵成績表	44
(2) 鱒孵化放流成績の概況	46
① 支事業場別桜鱒、樺太鱒孵化放流成績表	50
② 海区水系別桜鱒、樺太鱒孵化放流成績表	56
8. 鮭鱒親魚蓄養成績	62
9. 鮭鱒種卵の移殖	74
(1) 移殖概況	74
① 鮭卵移殖成績	74
② 鱒卵移殖成績	77
③ 姫鱒卵移殖成績	79
10. 姫鱒増殖事業	87
(1) 捕獲、採卵	87
(2) 孵化、放流	88
11. 鮭鱒稚魚飼育事業	88
12. 調査試験	93
13. 資料の刊行	112

昭和37年度新設孵化室

根室支場、伊茶仁事業場

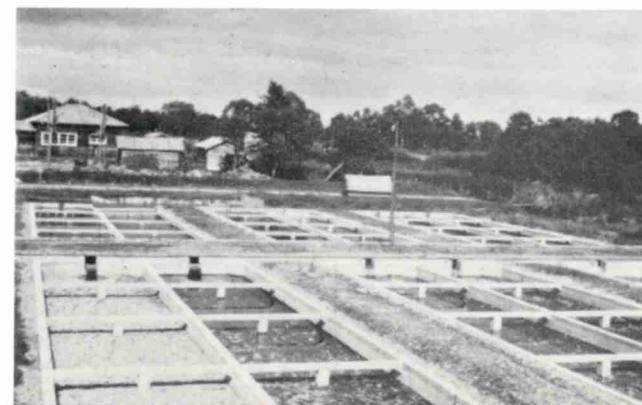
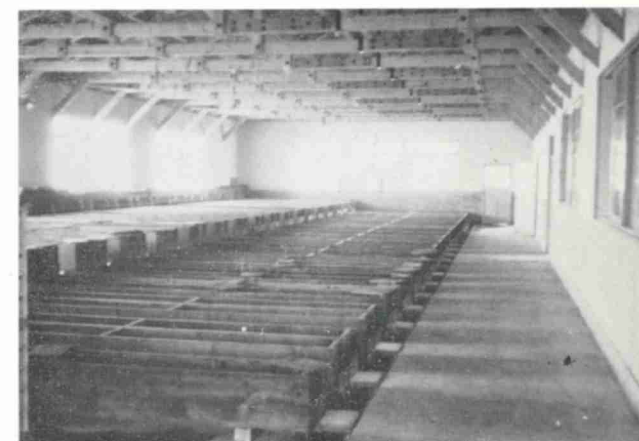


孵 化 室

収容設備 2,260万粒

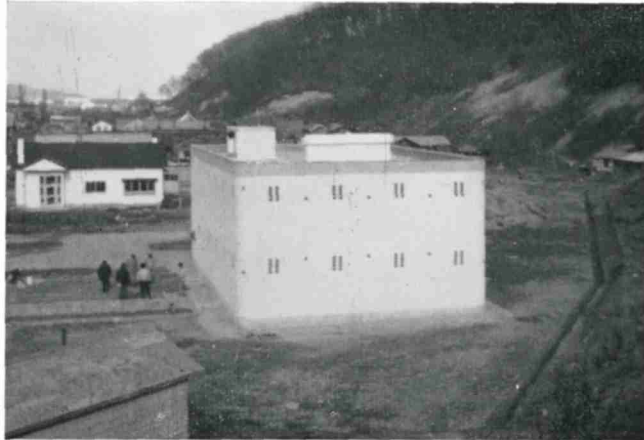
(立体式ふ化器 460万粒)
(アトキンス式 1,800万粒)

孵
化
室
内
部



稚
魚
飼
育
池

北見支場、網走事業場



收容設備 2,000万粒 (立体式孵化器)

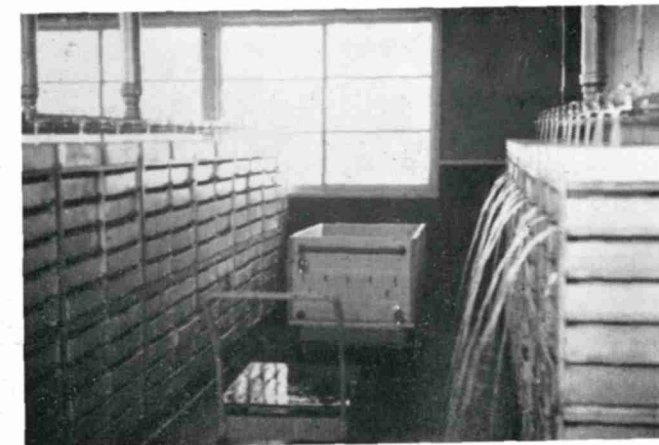
天塩支場、徳志別事業場



孵化室 (收容設備 立体式孵化器 520 万粒)



管理舎 (事務所)



立体式孵化器

1 鮭 鱒 捕 獲 事 業 実 施 体 制

昭和37年度鮭鱒捕獲採卵事業は、道内59河川72捕獲・採卵場（さけ、ます27個所、さけ39個所、ます5個所、姫鱒1個所）で実施した。この内北海道に委託して直営したものは19個所（さけ、ます9個所、さけ9個所、姫鱒1個所）、民間団体に委託して実施したものは53個所（さけ、ます18個所、さけ30個所、ます5個所）で、その詳細は第1、第2表の通りである。

第1表 昭和37年度鮭鱒捕獲事業実施体制

ます（・樺太、◎桜、樺太）
（○）ひめます

海 区	水 系	捕 獲 採 卵 場	担 当 ふ 化 場	実 施 区 分				海 区	水 系	捕 獲 採 卵 場	担 当 ふ 化 場	実 施 区 分				
				さ け		ま す						さ け		ま す		
				道	民 間	道	民 間					道	民 間	道	民 間	
オ ホ ー リ ツ ク 海 区	(北見支場)							計	6	10	8	5	4	3	1	
	ルシヤ 岩尾別	ルシヤ 岩斜藻網	ヤ別里琴走	岩尾別 斜藻網	尾里琴走	別里琴走	別里琴走	根室	(根室支場)	サシルイ 羅春薫崎	サシルイ 白刈古丹別	羅春薫崎	白刈古丹別	羅春薫崎	白刈古丹別	
	常湧渚興雄幌	呂別滑部武内	呂別滑部武内	北湧渚幌	見別滑内	見別滑内	見別滑内	室	無異別糠類仁津	無異別糠類仁津	無異別糠類仁津	無異別糠類仁津	無異別糠類仁津	無異別糠類仁津	無異別糠類仁津	
	(天塩支場)	標布別幌別	標布別幌別	德志別歌屯	德志別歌屯	德志別歌屯	德志別歌屯	海	床春当西風別	丹別幌別蓮賀	丹別幌別蓮賀	丹別幌別蓮賀	丹別幌別蓮賀	丹別幌別蓮賀	丹別幌別蓮賀	
	計	16	17	11	5	8	5	11	区							
	日 本 海 区	天塩 (千才支場)	天佐石西音支	塩久狩越江湖笏	天名千音支	塩寄才江湖笏	塩寄才江湖笏	塩寄才江湖笏	襟裳	(十勝支場)	歴十	舟勝	歴打千十利幕東東音茶	舟内田太別号号別路	大十幕札白	樹勝別内糠
		(渡島支場)	尻朱利厚沢	名朱冷厚沢	尻朱冷厚沢	尻朱冷厚沢	尻朱冷厚沢	尻朱冷厚沢	以東	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	

海 区	水 系	捕 獲 採卵場	担 当 ふ化場	実施区分				海 区	水 系	捕 獲 採卵場	担 当 ふ化場	実施区分			
				道	民間	道	民間					道	民間	道	民間
阿 寒	阿 寒	阿 寒	阿 寒	○				白 老	白 老	白 老	白 老	○			
釧 路	釧 路	釧 路	釧 路	○				敷 生	敷 生	敷 生	敷 生	○			
別 寒	別 寒	別 寒	別 寒	○				長 万	長 万	長 万	長 万	○			
計	7	14	9	2	12			遊 楽	遊 楽	遊 楽	遊 楽	○			
幌 別	幌 別	幌 別	幌 別	○				茂 辺	茂 辺	茂 辺	茂 辺	○			
元 浦	元 浦	元 浦	元 浦	○				知 内	知 内	知 内	知 内	○			
三 石	三 石	三 石	三 石	○				計	13	13	8	4	9		
静 内	静 内	静 内	静 内	○											
新 冠	新 冠	新 冠	新 冠	○											
鷗 川	鷗 川	鷗 川	鷗 川	○											
勇 弘	勇 弘	勇 弘	勇 弘	○				総計	59	72	45	18	48	10	23

(注)	(道)	(民間)	(計)
サケ・マス共実施箇所	9	18	27
サケのみ	9	30	39
マスのみ	0	5	5
姫マス	1	0	1
計	19	53	72

第2表 鮭、鱒、捕獲事業実施体制総括表

海 区	水 系	捕 獲 採卵場数	実 施 区 分				備 考
			鮭		鱒		
			道 委 託	民間委託	道 委 託	民間委託	
オホーツク 海区	1 6	1 7	5	8	5	1 1	
日 本 海 区	6	1 0	5	4	3	1	
根 室 海 区	1 7	1 8	2	1 5	2	1 1	
襟裳以東海区	7	1 4	2	1 2	9	—	
襟裳以西海区	1 3	1 3	4	9	—	—	
計	5 9	7 2	1 8	4 8	1 0	2 3	

2. 鮭、鱒ふ化放流実施体制

昭和37年度に人工ふ化放流事業を実施した箇所は49箇所(国営45ヶ所、民営ふ化場4ヶ所)

で、42河川に放流した。

その事業実施体制は、第3、第4表のとおりである。

第3表 昭和37年鮭、鱒ふ化放流実施体制

海 区	放 流 水系名	放流実施 事業場名	支 場 名	魚 種 鮭 鱒	海 区	放 流 水系名	放流実施 事業場名	支 場 名	魚 種 鮭 鱒
オホーツク海区	常呂	北見	北見	○	襟裳以東海区	別寒	太田	十勝	○
	岩尾	里別	里別	○		釧路	釧路	〃	○
	斜里	藻琴	藻琴	○		〃	阿寒	〃	○
	藻琴	走別	走別	○		阿茶	勝十	〃	○
	湧別	内幌	内幌	○		〃	十札	〃	○
	幌滑	渚滑	渚滑	○		〃	幕大	〃	○
	徳志	別歌	別歌	○		歴舟	〃	〃	○
	北見	幌別	登別	○		計	6	9	9
	屯別	〃	〃	○	襟裳以西海区	元浦	元浦	千才	○
	計	11	11	11		静内	静内	〃	○
日本海区	天塩	天塩	天塩	○		勇弘	勇弘	〃	○
	〃	名寄	名寄	○		白老	白老	〃	○
	石狩	千音	千音	○		敷生	敷生	〃	○
	〃	支笏	支笏	○		長万	長万	渡島	○
	尻別	尻別	尻別	○		遊楽	遊楽	〃	○
	利別	利別	利別	○		知内	知内	〃	○
	厚沢	厚沢	厚沢	○		計	8	8	8
	計	5	8	7		総計	38	45	44
	根室	根室	根室	○	民間ふ化施設				
根室海区	標津	根室	根室	○	根室以東海区	放 流	放流実施	民間放流	魚 種
	白根	白根	白根	○		水系名	事業場名	実施体名	鮭 鱒
	伊茶	伊茶	伊茶	○		根室	床丹	野付	〃
	標津	標津	標津	○		以東	十勝	利別	〃
	当幌	当幌	当幌	○		以西	川	川	〃
	風連	風連	風連	○		〃	茂辺	茂辺	〃
	別当	別当	別当	○		計	4	4	1
	計	8	9	9					

鮭、鱒、ふ化放流事業実施体制総括表

第4表

海 区	放 流 水 系 数	ふ 化 場 数			実 施 区 分		備 考
		国 営	民 営	計	鮭	鱒	
オホーツク海区	11	11	0	10	11	9	鮭の項には 姫鱒1を含む
日本海区	5	8	0	7	7	4	
根室海区	9	9	1	10	10	9	
襟裳以東海区	7	9	1	10	10	0	
襟裳以西海区	10	8	2	10	10	0	
計	42	45	4	49	48	22	姫鱒1を含む

3. 鮭 鱒 増 殖 事 業 経 費

昭和37年度における国費予算額は当初予算額224,969,000円、災害復旧予算額2,454,000円、合計227,423,000円で、その内訳及び決算額は第5表の通りである。

第5表 昭和37年度の予算及び決算額		(予 算 額)	(決 算 額)
(組 織)			
水 産 庁		227,423,000円	226,776,579円
(項)北海道鮭鱒ふ化場		224,969,000	224,327,579
職員俸給		57,619,000	56,529,345
扶養手当		2,565,000	2,433,753
暫定手当		1,487,000	1,588,873
職員諸手当		12,118,000	12,155,151
職員特別手当		17,473,000	18,278,792
超過勤務手当		3,937,000	4,109,083
職員旅費		4,051,000	3,965,327
庁費		3,326,000	3,222,894
光熱水料		1,331,000	1,013,218
採卵ふ化放流費		12,944,000	21,942,816
事業用機械器具購入費		14,827,000	14,825,067
土地建物借料		5,542,000	5,541,798
各所修繕		6,184,000	6,183,882
親魚捕獲事業委託費		32,783,000	32,763,752
国有資産所在市町村交付金		49,000	48,130
施設整備費		39,733,000	39,725,698
(項)農林省施設其他 災害復旧費		2,454,000	2,449,000
北海道鮭鱒ふ化場 災害復旧施設費		1,847,000	1,842,000
北海道鮭鱒孵化場 施設其他災害復旧費		607,000	607,000

4. 北海道鮭鱒孵化場の現員

昭和37年度末日における本支場別の人員の配置現況は第6表の通りである。

第6表 本、支場別人員配置表

	事 務 官	技 官	雇 用 定 員	合 計
本 場	17	24	5	47
北 見	2	17	3	22
根 室	2	24	3	30
十 勝	2	20	2	24
千 歳	1	12	4	17
天 塩	4	7	3	14
渡 島	2	10		12
合 計	30	114	20	166

註 定員167名(内行(一)155名、行(二)3名、研9名)、欠員1名(研)

現員166名

5. 鮭 鱒 漁 業 の 現 況

昭和37年度の鮭鱒漁業の概況は、北洋漁業の規制区域内では漁獲量割当が前年より1万屯減の5万5千屯に決定し、漁業条約締結以来最少漁獲量となり、5月15日に11船団、独航船369隻が出漁し、同月20日から操業を開始したが、ベニサケが予想以上に豊漁であつたため略割当の漁獲目標を達成し7月下旬には漁場を切揚げた。

一方規制区域外の流網及延縄漁業は本年度新たに6万屯の漁獲量割当規制が行われることとなつたが、このほうは流網が前年度の約50%、延縄は前年並の漁獲量であつた。又沿岸漁獲量はさすが前年に比べ不振であつたが、略前年並であつた。海面におけるさけますの魚種別漁獲状況は下記各表の通りである。

1. 規制区域内漁獲量 (単位: 屯、()内は前年度実績)

区分 漁種	母 船 式					計
	紅さけ	白さけ	銀さけ	ます	ますのすけ	
漁獲量	(34,901) 24,586	(13,013) 13,547	(647) 4,395	(4,908) 1,637	(105) 441	(53,573) 44,601
割当量			(53,600) 44,665 屯			

区分 漁種	48度以南流網				合計
	さけ	ます	その他	計	
漁獲量	(4,455) 3,835	(6,831) 1,909	(69) 4,170	(11,355) 9,914	(62,929) 54,515
割当量			(11,400) 10,335 屯		(65,000) 55,000

2. 規制区域外漁獲量 (単位: 屯、()内は前年度実績)

区分 魚種	48度以南流網				北 縄			合計
	鮭	ます	その他	計	鮭	ます	計	
漁獲量	(14,093) 10,468	(42,485) 17,760	(293) 445	(56,871) 28,673	(2,808) 2,876	(11,155) 10,157	(13,963) 13,033	(70,834) 41,706
割当量				(60,000) 60,000 屯				(一) 60,000

3. 沿岸漁獲量及び規制区域内外漁獲量 (単位: 屯、()内は前年度実績)

区分 漁種	沿 岸	規制区域内	規制区域外	計	備 考
さけ	(10,137) 11,962	(17,468) 17,382	(16,901) 13,344	(44,506) 42,688	
ます	(8,146) 5,260	(11,739) 3,546	(53,640) 27,917	(73,525) 36,723	
計	(18,283) 17,222	(29,207) 20,928	(70,541) 41,261	(118,031) 79,411	

(註) ① 漁獲量は白さけ及びますのみである。

② 沿岸漁獲量は定置、曳網、釣漁業によるものとし日本海マス流網漁業による漁獲量は含まない。

4. 地域別沿岸漁獲量 (単位: 屯、()内は前年度実績)

区分 漁種	本 州	北 海 道	計	備 考
さけ	(832) 1,327	(9,305) 10,635	(10,137) 11,962	
ます	(5,065) 732	(3,081) 4,528	(8,146) 5,260	
計	(5,897) 2,059	(12,386) 15,163	(18,283) 17,222	

(註) 前頁3に同じ。

6. 鮭 増 殖 事 業

(1) 鮭捕獲採卵概況

本年度の沂上親魚主群は昭和33年度の約417,000,000尾放流の回帰年に該当している。従つて捕獲は相当期待されたが、沿岸の漁況が好調であつたにも拘らず、河川内の捕獲は計画数の86.33%にとどまり、その総尾数は370,988尾となつた。

このことについては、①各種の気象、水理、生態的要因を満足せしめる沂上条件が整わなかつた。②施設の遅延、増減水等により捕獲条件が十分に整わず、天然産卵による再生産機構に廻つた。③回帰群の年令組成に変動があつて33年度放流の4年魚群が薄かつた。④密漁による捕獲の減退。以上4点が考えられ、全般的には十勝川の年令組成からみて③の要素が或程度考えられ、また根室管内では①、天塩管内では②の要素が強いが、河川沂上数は約633,800尾と推定されるので、河川沂上魚に対する捕獲率は58.5%である。

採卵数はそれぞれ各管内の捕獲数に比例するものであるが、十勝管内が少々低下を示したほかは捕獲数に見合う採卵数を示している。また親魚の使用率は局部的なものを除いては前年度に比べ全般的にやや低下を示し355,000,000粒、使用率81.1%となつた。このことは捕獲場の下流移転に伴い当然大巾の低下が予期されたところであるが、前年度の平均83.8%に対し81.1%の成績をおさめたことは概ね良好であつて今後の向上に期待が持てる。

第7表 事業計画と実績並びに前年度との比較

区 分	昭和37年度			昭和36年度	前年対比	
	計 画 数	実 績	達成率		増	減
捕 獲 数	429,700尾	370,988尾	86.3%	427,507	—	56,519尾
使用数	182,092	139,663	76.7%	177,064	—	37,401
採 卵 数	481,042,000粒	355,087,100	73.8%	455,038,520	—	99,951,420
收容前死卵数		23,015,060		29,137,370	—	6,116,410
收容卵数	466,607,000	332,072,040	71.1%	425,901,150	—	93,835,010

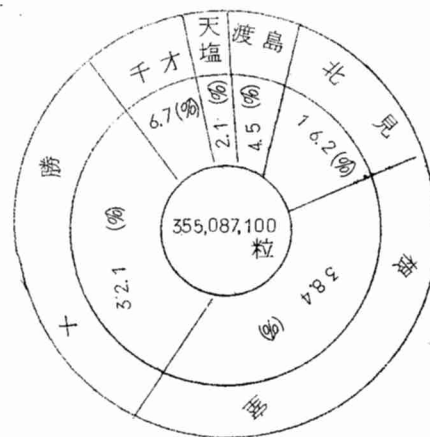
海 区 別 鮭 捕 獲 成 績 図



支 場 別 鮭 捕 獲 成 績 図



支 場 別 採 卵 成 績 図



各支場管内の捕獲・採卵概況は次の様である。

(北 見 支 場)

捕獲及採卵を実施したのは10ヶ所でその水系は9河川である。

沿岸漁獲は比較的好漁であつたが、特に湧別川、網走川えの沂上が例年に比べて少なかったため、管内の総捕獲数は53,738尾で全道捕獲の14.48%となつている。これに対し採卵率は全道の16.2%でその数量は57,513,200粒となり、♀使用率は前年を上廻る成績を示した。

(根 室 支 場)

この管内の鮭捕獲水系は16河川、捕獲採卵を行つたのは17ヶ所である。総捕獲数は125,319尾で計画数の76.36%にとどまつた。この管内も沿岸は極めて好漁で約40万尾を水揚げしており、河川内捕獲との比は7:3.2となつているが、過去3ヶ年の平均が大凡1:2.5となつていることからみても、本年は河川えの沂上であつたと言える。

特に標津川は沂上盛期中の湯水が(10月降雨量前年に較べ57.8%減)親魚の沂上を妨げたものと思考される。また羅臼川は河川工事の影響もあつて共に大巾に計画を下廻つた。しかし全道捕獲数に対するこの管内の捕獲率は33.79%で十勝に次いで大きな比率を占めている。

採卵数は135,576,500粒で全道の38.4%となつており捕獲の低下にも拘らず約5%の伸びを示した。

根 室 海 域 沿 岸 さ け、漁 獲 高

単位 Kg

地 区	本 年 度	前 年 度	過 去 3 ヶ 年 平 均	備 考
羅 臼	(252,752) 762,448	726,377	420,129	()はときしらず
標 津	528,486	370,084	205,908	
野 付	131,617	140,144	79,232	
別 海	191,424	234,703	179,959	
湾中、湾中外	47,800	66,991	66,385	
計	(252,752) 1,661,775	1,538,259	951,613	

(十 勝 管 内)

この管内の捕獲実施河川は7水系、実施ヶ所は14ヶ所である。

管内総捕獲数は144,689尾で計画数をほぼ達成した。更に沿岸でも好漁であつた。また年令組成からみれば5年が約50%、4年が27.2%、3年が20.7%となつており、この管内の回游群は32年度放流稚魚の影響が強く33年度と34年度放流稚魚の回游はそれぞれ1/4となつている。

しかし全道捕獲数に対する率は39.0%で当該各管内随一の捕獲数を挙げているが、採卵数については全道の32%、114,140,000粒であつた。

採卵率の低かつたのは♂が多かつたこと(♀:♂=42:58)によることと、十勝川水系の♀使用率が低かつたためである。

この主たる要因は2回に亘る台風の襲来を受け蓄養施設の破壊による逃逸、斃死等によるもので今後施設の改善で成績の向上は図られるものとみられる。

(天 塩 支 場)

この管内の実施水系は4河川、捕獲採卵場所は5ヶ所である。

総捕獲尾数は6,690尾で、計画の44.7%、全道比は僅か1.81%である。これは特に天塩川流域の雨量が多く沂上量は相当多く見受けられたにも拘らず、捕獲施設の冠水、電気柵の併置末工事のまま盛期を終つたことが大きな原因である。しかし再生産的には天然産卵が相当あるものと推定され、この川の放流数が資源量を決定する比重は高いと考えられる。

支、事業場別、鮭

支 場	事 業 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
北 見	北 見	4,638	5,450	10,088	3,286	1,275	4,561
	幌 内	868	1,033	1,901	862	370	1,232
	渚 滑	817	872	1,689	781	380	1,161
	湧 別	10,513	9,124	19,637	9,984	4,695	14,679
	網 走	8,905	9,358	18,263	8,803	2,287	11,090
	藻 琴	179	112	291	179	108	287
	斜 里	840	706	1,546	817	329	1,146
	岩 尾 別	165	158	323	165	99	264
	計 本 年 度	26,925	26,813	53,738	24,877	9,543	34,420
	計 前 年 度	33,077	25,608	58,685	30,407	11,992	42,399

採卵数も捕獲数に比例して少く7,357,400粒であるが全道比は2.1%で捕獲の1.81%にしては良好な成績を示した。

(千 才 支 場)

この管内の実施水系は10河川、捕獲採卵場所は12ヶ所である。

総捕獲数は25,835尾で十勝管内同様少々計画数を上廻つた。しかし、採卵数はこれも十勝同様♂が多かつたために計画の84.9%にとどまつた。♀:♂の比は59:41となつている。またこのほか石狩採卵場の♀使用率が5.3%と極端に低下している点が挙げられる。捕獲数の全道比は6.96%採卵の全道比は6.7%となつており、すべての点で十勝管内に似た傾向である。

(渡 島 支 場)

この管内の実施水系は8河川、捕獲採卵場所は8ヶ所である。

総捕獲数は14,717尾で、計画に対して12.6%の増獲となつているが、尾数が少いためにその全道比は3.97%に当る。しかしこの管内としては極めて好漁であつた。一方沿岸の漁獲も好漁で河川と沿岸の比は2:8位を示している。

採卵数は16,000,400粒、全道比は4.5%で、他の5支場に較べ♀使用率は最高の95.1%を示している。

親 魚 捕 獲 採 卵 成 績 表

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚使用率	平均採卵数	期 間
8,795,700	454,000	8,341,700	70.8	2,677	9. 1~12.20
試 (101,720)	(1,720)	(100,000)			
2,435,700	15,700	2,420,000	99.3	2,826	9. 1~12.25
2,138,800	95,800	2,043,000	95.6	2,739	9. 1~12.22
22,307,400	1,298,400	21,003,000	94.9	2,234	9. 1~12.25
寄 (112,600)	(3,300)	(109,300)			
1,816,960	79,700	1,736,900	98.9	2,064	9.17~ 1.10
寄 (181,000)	(8,500)	(172,500)			
503,400	18,400	485,000	100.0	2,812	9. 1~12.20
2,055,700	25,700	2,030,000	97.3	2,516	9.22~12.28
寄 (457,900)	(2,900)	(455,000)			
355,400	400	355,000	100.0	2,154	10. 2~12.25
(853,220)	(16,420)	(836,800)			()を含む
57,614,920	2,724,520	54,890,400	92.4	2,316	9. 1~ 1.10
72,864,780	3,226,880	69,637,900	91.9	2,396	9. 1~12.27

支 場	事 業 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数		
		♀ 尾	♂ 尾	計 尾	♀ 尾	♂ 尾	計 尾
根 室	根 室	10,939	10,260	21,199	10,390	4,747	15,137
	羅 白	2,782	1,336	4,118	2,489	1,059	3,548
	燕 別	1,189	1,458	2,647	1,061	559	1,620
	伊 茶 仁	223	317	540	214	109	323
	中 標 津	1,834	1,579	3,413	1,833	924	2,757
	計 根 別	2,216	1,982	4,199	2,179	969	3,148
	虹 別	40,474	41,965	82,439	34,123	10,762	44,885
	浜 中	1,428	1,702	3,130	1,363	717	2,080
	厚 床	1,804	1,830	3,634	1,804	716	2,520
	計 { 本年度 前年度	62,889 78,214	62,430 73,626	15,319 15,840	55,456 73,195	20,562 25,036	76,018 98,231
	十 勝	35,171	55,781	90,952	19,127	3,853	22,978
	太 田	4,698	4,159	8,857	4,531	2,056	6,587
	釧 路	5,682	5,852	11,534	5,583	2,316	7,899
	鶴 居	7,581	6,261	13,842	7,072	3,622	10,694
	阿 寒	577	368	945	559	209	768
	白 糠	343	294	627	291	97	388
	幕 別	3,036	3,429	6,465	2,480	769	3,249
	札 内	3,169	4,462	7,631	1,055	343	1,398
	大 樹	411	476	887	394	157	551
	計 { 本年度 前年度	60,668 83,462	84,021 94,804	14,689 18,266	41,090 58,789	13,422 21,108	54,512 79,897
	天 塩	1,715	2,059	3,774	1,120	234	1,354
	德 志 別	122	101	223	108	40	148
	歌 登	337	472	809	289	114	403
	屯 別	1,135	749	1,884	1,124	430	1,554
	計 { 本年度 前年度	3,309 4,889	3,381 5,082	6,690 9,971	2,641 4,043	818 1,202	3,459 5,245

採 卵 数	収 容 筒	収容卵数	親魚使用率	平均採卵数	期 間
粒	粒	粒	%	%	
27,257,520	1,361,520	25,896,000	94.9	2,623	9. 1~12. 3
海(643,200)	(15,700)	(627,500)			
5,379,420	49,420	5,330,000	89.5	2,161	10.16~12.23
2,397,200	86,700	2,310,500	89.2	2,259	9.10~12.20
550,900	15,100	535,800	96.0	2,576	9.13~12. 3
4,384,500	208,400	4,176,100	99.9	2,392	8.10~12.25
4,920,400	349,400	4,571,000	98.3	2,258	9.11~12.17
81,975,950	10,706,950	71,269,000	84.3	2,402	9. 8~ 1.27
3,936,060	47,560	3,888,500	95.4	2,887	9.11~11.15
4,774,530	100,530	4,674,000	100.0	2,646	9. 1~11.30
海(643,200)	(15,700)	(627,500)			
136,219,680	12,941,280	123,278,400	88.2	2,456	()を含む 8.10~ 1.27
178,990,880	12,406,880	166,584,000	93.5	2,448	8.21~ 1.31
54,015,800	2,571,700	51,444,100	54.4	2,824	9.12~12. 6
10,984,700	546,900	10,432,800	96.4	2,424	9.21~11.13
15,501,000	1,745,000	13,756,000	98.2	2,776	9.14~12.13
21,170,700	910,900	20,259,800	93.3	2,993	9.21~12. 8
1,624,400	38,500	1,585,900	96.9	2,905	9. 9~11. 6
1,011,000	123,500	887,500	84.8	3,474	9.24~11.15
6,337,000	208,600	6,128,400	81.7	2,555	9.13~11.15
2,487,500	100,400	2,387,100	33.3	2,358	9.13~11.10
1,007,900	76,100	931,800	95.8	2,558	10. 5~12.25
114,140,000	6,321,600	107,818,400	67.7	2,637	9. 9~12.25
166,592,280	12,484,180	154,113,100	70.4	2,834	9.10~12.25
3,092,500	143,100	2,949,400	65.3	2,761	9. 1~11.12
317,400	2,800	314,600	88.5	2,939	9.16~11.30
710,000	10,800	699,200	85.7	2,456	9.21~11.30
3,237,500	60,560	3,176,940	99.0	2,880	9.21~11.30
7,357,400	217,260	7,140,140	79.8	2,786	9. 1~11.30
11,097,600	458,650	10,638,950	82.7	2,745	9. 1~12. 3

支 場	事 業 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
千 才	千 才	3,203	4,598	7,801	3,203	1,382	4,585
	石 狩	1,471	3,466	4,937	78	14	92
	音 江	1,246	1,779	3,025	1,111	228	1,339
	元 浦 河	515	1,061	1,576	448	247	695
	静 内	2,437	2,092	4,529	2,011	765	2,776
	新 冠	244	304	548	186	163	349
	勇 弘	955	1,313	2,268	624	394	1,018
	白 老	266	275	541	246	172	418
	敷 生	307	303	610	287	160	447
	計 本 年 度	10,644	15,191	25,835	8,194	3,525	11,719
渡 島	計 前 年 度	4,130	6,449	10,579	3,465	1,913	5,378
	八 雲	931	844	1,775	898	417	1,315
	長 万 部	100	159	259	50	28	78
	知 内	5,488	4,447	9,935	5,333	3,304	8,637
	厚 沢 部	600	641	1,241	590	318	908
	利 別	463	591	1,054	353	168	521
	尻 別	204	249	453	181	106	287
	計 本 年 度	7,786	6,931	14,717	7,405	4,341	11,746
	計 前 年 度	7,670	10,495	18,165	7,255	3,971	11,136
	合 本 年 度	17,221	19,876	37,097	13,663	5,221	19,184
	計 前 年 度	21,142	21,604	42,746	17,706	6,522	24,228

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚使用率	平均採卵数	期 間
10,402,900	210,500	10,192,400	100.0	3,248	9.16~11.12
199,500	2,900	196,600	53.0	2,558	9.1~11.20
2,660,500	71,000	2,589,500	89.2	2,395	8.25~10.31
1,133,250	20,650	1,112,600	87.0	2,530	9.26~12.26
5,391,650	137,550	5,254,100	82.5	2,681	9.5~12.20
413,500	11,000	402,500	76.2	2,260	9.29~12.10
2,159,100	34,100	2,125,000	65.3	3,460	9.25~12.31
634,400	29,400	605,000	92.5	2,579	9.21~12.26
756,300	36,300	720,000	93.5	2,635	9.21~12.26
23,751,100	553,400	23,197,700	77.0	2,900	9.1~12.31
9,430,880	184,580	9,246,300	83.9	2,722	9.1~12.31
2,782,000	67,500	2,714,500	96.5	3,098	10.1~12.27
121,000	4,300	116,700	50.0	2,420	9.13~11.10
10,005,900	147,900	9,858,000	97.2	1,879	10.7~12.22
1,587,000	7,000	1,580,000	98.3	2,672	10.1~12.7
1,036,500	16,000	1,020,500	76.2	2,936	10.1~12.7
471,600	14,300	457,300	88.7	2,606	9.1~12.10
16,004,000	257,000	15,747,000	95.1	2,161	9.13~12.27
16,057,100	376,200	15,680,900	94.6	2,213	9.13~12.28
寄 (751,500)	(14,700)	(736,800)			
海 (643,200)	(15,700)	(627,500)			
試 (101,720)	(1,720)	(100,000)			()を含む
355,087,100	23,015,060	332,072,040	81.1	2,542	8.25~12.7
455,038,520	29,137,370	425,901,150	83.8	2,573	8.20~13.1

註 (寄)は寄贈卵、(海)は海産卵、(試)は試験卵を示す。

海区水系別鮭親魚

海区	水系	採卵場	捕獲数			使用親魚数		
			♀	♂	計	♀	♂	計
オホ ホ ッ 夕 海 区	岩尾別	岩尾別	165	158	323	165	99	264
	斜里	斜里	840	706	1,546	817	329	1,146
	藻琴	藻琴	179	112	291	179	108	287
	網走	網走	7,964	8,822	16,786	7,862	1,996	9,858
	"	西網走	941	536	1,477	941	291	1,232
	常呂	常呂	4,638	5,450	10,088	3,286	1,275	4,561
	湧別	湧別	10,513	9,124	19,637	9,984	4,695	14,679
	渚滑	渚滑	817	872	1,689	781	380	1,161
	"	興部	—	—	—	—	—	—
	幌内	幌内	868	1,033	1,901	862	370	1,232
	徳志別	徳志別	122	101	223	108	40	148
	幌別	北見幌別	337	472	809	289	114	403
	屯別	屯別	1,135	749	1,884	1,124	430	1,554
	海区計	本年度	28,519	28,135	56,654	26,398	10,127	36,525
		前年度	35,036	27,292	62,328	32,294	12,696	44,990
日 本 海 区	天塩	天塩	1,001	1,466	2,467	431	101	532
	"	佐久	714	593	1,307	689	133	822
	石狩	石狩	1,471	3,466	4,937	78	14	92
	"	音江	1,246	1,779	3,025	1,111	228	1,339
	"	西越	3,203	4,598	7,801	3,203	1,382	4,585
	尻別	名駒	62	88	150	61	42	103
	利別	朱太	142	161	303	120	64	184
	"	冷水第一	276	474	750	168	73	241
	"	冷水第二	187	117	304	185	95	280
	厚沢部	厚沢部	600	641	1,241	590	318	908
	海区計	本年度	8,902	13,383	22,285	6,636	2,450	9,086
		前年度	6,131	7,756	13,887	4,718	1,463	6,181

捕獲採卵成績表

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使 用 率	平均採卵数	実 施 期 間
寄(457,900) 355,400	(2,900) 400	(455,000) 355,000	100.0	2,154	10. 2~12.25
2,055,700	25,700	2,030,000	97.3	2,516	9.22~12.28
寄(181,000) 50,340	(8,500) 18,400	(172,500) 485,000	100.0	2,812	9. 1~12.20
寄(112,600) 16,013,600	(3,300) 743,200	(109,300) 15,270,400	98.7	2,037	9.17~12.23
2,156,000	56,500	2,099,500	100.0	2,291	10.30~ 1.10
8,795,700	454,000	8,341,700	70.8	2,677	9. 1~12.20
22,307,400	1,298,400	21,009,000	94.9	2,234	9. 1~12.25
2,138,800	95,800	2,043,000	95.6	2,739	9. 1~12.22
—	—	—	—	—	—
試 (101,720) 2,435,700	(1,720) 15,700	(100,000) 2,420,000	99.3	2,826	9. 1~12.25
317,400	2,800	314,600	88.5	2,939	9.16~11.30
710,000	10,800	699,200	85.7	2,456	9.21~11.30
3,237,500	60,560	3,176,940	99.0	2,880	9. 1~11.30
寄(751,500) 試(101,720)	(14,700) (1,720)	(736,800) (100,000)	92.6		()を含む
61,879,820	2,796,680	59,081,140	92.6	2,344	9. 1~12.28
77,873,280	3,339,980	74,533,300	92.5	2,419	9. 1~12.27
1,157,500	78,700	1,078,800	43.1	2,686	9.16~11.12
1,935,000	64,400	1,870,600	96.5	2,808	9. 1~11.20
1,999,500	2,900	1,996,600	5.3	2,558	9. 1~11.20
2,660,500	71,000	2,589,500	89.2	3,395	8.25~10.31
10,402,900	210,500	10,192,400	100.0	2,248	9.11~12.19
155,600	1,900	153,700	98.4	2,551	10.10~11.30
316,000	12,400	303,600	90.1	2,633	9.21~12.10
490,900	13,400	477,500	60.9	2,922	9.19~11.16
545,600	2,600	543,000	98.9	2,949	10.11~11.28
1,587,000	7,000	1,580,000	98.3	2,672	10. 1~12. 7
19,450,500	464,000	18,985,700	74.5	2,742	8.25~12.19
13,541,600	478,050	13,063,550	76.1	2,870	8.20~12.25

海 区	水 系	採 卵 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
			♀	♂	計	♀	♂	計
根 室 海 区	羅 白	羅 白	2,736	1,301	4,037	2,445	1,038	3,483
	春刈古丹	春刈古丹	46	35	81	44	21	65
	植 別	植 別	310	241	551	280	128	408
	元崎無異	元崎無異	32	32	64	24	13	37
	崎 無 異	崎 無 異	142	148	290	126	65	191
	蕨 別	蕨 別	698	1,027	1,725	625	349	974
	古多糠	古多糠	7	10	17	6	4	10
	忠 類	忠 類	48	147	195	41	23	64
	伊茶仁	伊茶仁	175	170	345	173	86	259
	標 津	標 津	10,939	10,260	21,199	10,390	4,747	15,137
	〃	武 佐	1,834	1,579	3,413	1,833	924	2,757
	当 幌	当 幌	1,649	1,581	3,230	1,618	721	2,339
	春〃別	春 別	245	170	415	240	96	336
	(床丹)	(床丹)	322	232	554	321	152	473
	西 別	1 4 線	40,474	41,965	82,439	34,123	10,762	44,885
襟 裳 以 東 海 区	風 蓮	風 連	1,428	1,702	3,130	1,363	717	2,080
	別当賀	別当賀	1,804	1,830	3,634	1,804	716	2,520
	海 区 計	本 年 度	62,889	62,430	125,319	55,456	20,562	76,018
		前 年 度	78,214	73,626	151,840	73,195	25,036	98,231
	歴 舟	歴 舟	411	476	887	394	157	551
	十 勝	幕 別	2,903	3,126	6,029	2,411	742	3,153
	〃	利 別	133	303	436	69	27	96
	〃	打 内	21,245	41,727	62,972	10,992	2,267	13,259
	〃	東 15号	40	154	194	40	22	62
	〃	千 代 田	8,713	9,746	18,459	7,146	1,566	8,712
	〃	東 33号	3,129	4,308	7,437	1,015	321	1,336
	〃	十 勝 太	5,213	7,247	12,460	987	20	1,007
	音 別	音 別	48	84	132	9	6	15

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使用 率	平均採卵数	実 施 期 間
海産卵(643,200)	(15,700)	(627,500)	89.4	2,157	10.16~12.23
5,273,820	48,820	5,225,000			
105,600	600	105,000	95.7	2,400	9.21~11.30
658,100	26,600	631,500	90.3	2,350	9.10~12.20
53,800	2,300	51,500	75.0	2,242	10.15~12.20
292,200	11,900	280,300	88.7	2,319	9.17~12.20
1,379,700	45,500	1,334,200	89.5	2,208	9.18~12.13
13,400	400	13,000	85.7	2,233	10.11~12.20
99,200	3,800	95,400	85.4	2,418	9.13~11.20
451,700	11,300	440,400	98.8	2,611	10. 1~12. 3
27,257,520	1,361,520	25,896,000	94.9	2,623	9. 1~12. 3
4,384,500	208,400	4,176,100	99.9	2,392	8.10~12.25
3,497,400	241,400	3,256,000	98.1	2,161	9.11~12.17
584,400	68,400	516,000	97.9	2,435	9.11~11.30
838,600	39,600	799,000	99.6	2,612	9.11~11.30
81,975,950	10,706,950	71,269,000	84.3	2,402	S 38 9. 8~ 1.27
3,936,060	47,560	3,888,500	95.4	2,887	9.11~11.15
4,774,530	100,530	4,674,000	100.0	2,646	9. 1~11.30
海産卵(643,200)	(15,700)	(627,500)	88.2	2,456	()を含む 8.10~ 1.27
136,219,680	12,941,280	123,278,400			
178,990,880	12,406,880	166,584,000	93.5	2,448	8.21~11.31
1,007,900	76,100	931,800	95.8	2,558	10. 5~12.25
6,195,000	205,800	5,989,200	83.0	2,569	9.13~11.15
142,000	2,800	139,200	51.8	2,057	9.15~10.30
31,495,000	1,467,200	30,027,800	51.7	2,865	9.12~11.25
102,500	2,900	99,600	100.0	2,562	9.19~10.31
20,310,800	1,041,300	19,269,500	83.1	2,842	9.15~12. 6
2,385,000	97,500	2,287,500	32.4	2,358	9.13~11.10
2,210,000	63,200	2,146,800	18.9	2,239	9.14~11.10
20,400	400	20,000	18.7	2,266	10. 1~11.15

海 区	水 系	採 卵 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
			♀	♂	計	♀	♂	計
茶 路 阿 寒 別 海 区 計	茶 路	茶 路	295	210	505	282	91	373
	阿 寒	阿 寒	577	368	945	559	209	768
	雪 裡	雪 裡	7,581	6,261	13,842	7,072	3,622	10,694
	" 茅 沼	" 茅 沼	5,682	5,852	11,534	5,583	2,316	7,899
	別寒辺牛	別寒辺牛	4,698	4,159	8,857	4,531	2,056	6,587
	本年度	本年度	60,668	84,021	144,689	41,090	13,422	54,512
襟 裳 以 西 海 区	幌 別	日高 幌別	255	343	598	219	139	358
	元 浦 河	元 浦 河	260	718	978	229	108	337
	三 石	三 石	186	334	520	130	50	180
	静 内	静 内	2,009	1,493	3,502	1,698	627	2,325
	新 冠	新 冠	244	304	548	186	163	349
	鷗 川	鷗 川	242	265	507	183	88	271
	勇 弘	勇 弘	955	1,313	2,268	624	394	1,018
	白 老	白 老	266	275	541	246	172	418
	敷 生	敷 生	307	303	610	287	160	447
	長 万 部	長 万 部	100	159	259	50	28	78
	遊 楽 部	遊 楽 部	931	844	1,775	898	417	1,315
	茂 辺 地	茂 辺 地	5,331	4,274	9,605	5,181	3,222	8,403
	知 内	知 内	157	173	330	152	82	234
	本年度	本年度	11,243	10,798	22,041	10,083	5,650	15,733
	前 年度	前 年度	5,105	7,531	12,636	4,754	2,552	7,803
合 計	本年度	本年度	172,221	198,767	370,988	139,663	52,211	191,874
	前 年度	前 年度	211,422	216,064	427,506	177,064	65,222	242,286
	増 減	増 減	(-) 39,221	(-) 17,297	(-) 56,518	(-) 37,401	(-) 13,011	(-) 50,412

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	親 魚 使用率	平均採卵数	実 施 期 間
990,600	117,200	873,400	88.2	3,512	9.24~11.19
1,624,400	44,400	1,580,000	96.9	2,905	9.9~11.6
21,170,700	910,900	20,259,800	93.3	2,993	9.21~12.8
15,501,000	1,745,000	13,756,000	98.2	2,776	9.14~12.13
10,984,700	546,900	10,432,800	96.4	2,424	9.21~11.13
114,140,000	6,321,600	107,818,400	67.7	2,637	9.9~12.25
166,592,280	12,484,180	154,113,100	70.4	2,834	9.10~12.25
549,300	9,200	540,100	85.9	2,508	10.3~12.20
583,950	11,450	572,500	88.1	2,550	9.26~12.26
235,750	4,250	231,500	69.9	1,813	10.3~12.14
4,696,000	131,500	4,564,500	84.5	2,766	10.10~12.20
413,500	11,000	402,500	76.2	2,260	9.29~12.10
459,900	1,800	458,100	75.6	2,513	9.5~11.22
2,159,100	34,100	2,125,000	65.3	3,460	9.25~12.31
634,400	29,400	605,000	92.5	2,579	9.21~12.26
756,300	36,300	720,000	93.5	2,635	9.21~12.26
121,000	4,300	116,700	50.0	2,420	9.13~11.10
2,782,000	67,500	2,714,500	96.5	3,098	10.1~12.27
9,586,900	143,900	9,443,000	97.2	1,851	10.7~12.22
419,000	4,000	415,000	96.8	2,756	10.15~12.13
23,397,100	488,700	22,908,400	89.7	2,320	8.10~12.27
10,579,240	140,740	10,438,500	93.1	2,277	9.1~12.28
寄贈卵(751,500)	(14,700)	(736,800)			
海産卵(643,200)	(15,700)	(627,500)			
試験卵(101,720)	(1,720)	(100,000)			
355,087,100	23,015,060	332,072,040	81.1	2,548	()を含む 8.25~1.27
455,038,520	29,137,370	425,901,150	83.8	2,573	8.20~1.31
(-) 99,951,420	(-) 6,122,310	(-) 93,829,110			

(2) 鮭ふ化放流成績概況

ふ化は従来のアトキンス式のほか立体式、河床埋蔵方法による三つの方法によつて行われたが、アトキンス式及び立体ふ化室の成績は、収容卵数330,473,540粒に対しふ出尾数291,204,380尾、ふ化率88.1%の成績であつた。

アトキンス式ふ化によるものは当場の大部分を占め、極端な良否はなく孵化率については特種な個所を除けば90%以上の良好な成績であつた。

支、事業場別鮭

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
北	見	8,341,700粒	605,400粒
	岩 尾 別	1,422,500	223,300
	斜 里	2,030,000	227,400
	藻 琴	5,045,000	467,000
	網 走	12,553,800	2,240,600
	湧 別	17,509,000	2,432,200
	渚 滑	5,543,000	990,000
	幌 内	2,420,000	129,500
	計 { 本 年	54,865,000	7,315,400
	前 年	74,282,900	9,697,020
根 室	根 室	8,487,500	746,500
	羅 臼 別	8,012,500	2,759,920
	薫 茶 仁	2,311,790	2,041,290
	伊 茶 津	9,285,000	1,512,300
	中 標 別	12,140,000	1,533,800
	計 根 別	10,650,500	1,413,400
	虹 別	41,177,500	5,722,880
	浜 中	3,885,500	290,100
	厚 床	4,214,000	292,120
	(床 丹)	1,215,000	307,700
	計 { 本 年	122,188,400	16,620,010
	前 年	151,619,560	21,224,695

立体式によるふ化は網走、渚滑、徳志別及び伊茶仁（一部だけ）の4事業場であるが経験は浅い、いながらもふ化率は80%以上を示している。

河床埋蔵によるものは本来孵化室で行うものを用水の枯渇、施設の不備等によつてふ化室が使用出来ない場合の応急処置として行うもので、今年度は試験的に行つたのであるが更に改善を加えることにより事業として小数卵のふ化方法として採用しうる見透をえた。放流数約2億8千万尾に達するが飼育事業との関連もあつて従来の記入方法では不十分な点も生じて来たので今後この放流数の算出及び記入方法については改める必要がある。

孵 化 放 流 成 績 表

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
7,736,300尾	92.7%	6,765,000尾	3.10~5.10
1,199,200	84.2	1,180,000	6.15~6.20
1,802,600	88.8	1,770,000	4.1~4.30
4,578,000	90.5	4,577,500	4.25~5.12
10,313,200	82.1	9,845,000	2.20~4.30
15,076,800	86.1	14,910,000	3.12~6.15
4,553,000	82.1	4,510,000	4.8~4.27
2,290,500	94.6	2,270,000	5.1~5.15
47,549,600	86.7	45,827,500	3.10~6.20
64,585,880	86.9	63,389,500	3.1~6.10
7,741,000	99.0	7,663,600	4.20~6.10
5,252,580	65.6	4,200,500	3.1~4.4
21,076,610	91.1	20,924,400	4.20~6.30
7,772,700	83.7	7,559,300	5.22~5.31
10,606,000	87.4	10,415,200	4.10~6.25
9,237,100	86.7	9,116,100	4.10~5.30
35,454,620	85.1	34,404,800	3.1~4.30
3,598,400	92.5	3,346,600	5.15~5.21
3,921,880	93.1	3,917,900	5.5~5.31
907,300	74.7	898,300	4.20~5.20
105,568,390	86.4	102,446,700	3.1~6.30
130,394,865	86.0	125,724,890	1.20~7.20

失 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
十 勝	十 勝	1 4, 4 4 2, 4 0 0粒	1, 1 9 8, 7 5 0粒
	大 田	5, 2 4 6, 8 0 0	5 2 3, 9 0 0
	釧 路	2 2, 2 6 8, 5 0 0	1, 6 9 9, 6 0 0
	鶴 居	7, 9 0 5, 0 0 0	4 7 8, 7 0 0
	阿 寒	2, 0 0 2, 5 0 0	2 5 3, 3 0 0
	幕 別	1 4, 6 0 5, 4 0 0	1, 5 6 3, 1 0 0
	札 内	3 8, 7 3 1, 3 0 0	3, 7 8 9, 7 0 0
	大 樹	1, 9 3 1, 8 0 0	1 1 4, 4 5 0
	白 糠	4 6 5, 0 0 0	4 3, 2 0 0
	(利 別)	1 3 9, 2 0 0	1 1, 8 0 0
	計 { 本 年	1 0 7, 7 3 7, 9 0 0	9, 8 0 1, 5 0 0
	計 { 前 年	1 2 1, 2 6 0, 7 0 0	9, 2 3 2, 8 8 0
天 塩	天 塩	2, 9 4 9, 4 0 0	2 4 6, 3 7 0
	名 寄	1, 0 6 0, 1 4 0	5 0, 3 8 0
	徳 志 別	3 1 4, 6 0 0	5 4, 5 0 0
	歌 登	2, 4 2 1, 4 0 0	2 4 8, 5 0 0
	屯 別		
	計 { 本 年	6, 7 4 5, 5 4 0	5 9 9, 7 5 0
千 才	計 { 前 年	1 7, 3 6 5, 0 5 0	2, 7 3 7, 2 5 0
	千 才	1 2, 5 1 4, 0 0 0	2, 0 6 0, 7 0 0
	音 江	2, 5 8 9, 5 0 0	4 6 3, 0 0 0
	元 浦 河	1, 1 1 2, 6 0 0	7 8, 0 0 0
	静 内	5, 1 9 8, 5 0 0	4 1 9, 5 0 0
	白 老	1, 3 2 5, 0 0 0	3 8, 1 0 0
	(鵜 川)	4 5 8, 1 0 0	1 7, 5 0 0
	敷 生	—	—
	勇 弘	—	—
	計 { 本 年	2 3, 1 9 7, 7 0 0	3, 0 7 6, 8 0 0
	計 { 前 年	3 7, 1 6 5, 9 0 0	5, 5 8 0, 4 4 0

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
1 3, 2 4 3, 6 5 0 尾	9 1. 7 %	1 2, 7 8 0, 2 0 0 尾	4. 1 ~ 5. 3 1
4, 7 7 2, 9 0 0	9 0. 0	4, 4 9 1, 5 0 0	4. 1 ~ 4. 2 8
2 0, 5 6 8, 9 0 0	9 2. 4	1 8, 5 1 1, 9 0 0	3. 2 ~ 4. 3 0
7, 3 0 1, 3 0 0	9 3. 8	7, 1 7 0, 0 0 0	2. 1 5 ~ 5. 3 0
1, 7 4 9, 2 0 0	8 7. 4	1, 7 0 3, 8 0 0	5. 1 ~ 5. 3 1
1 3, 0 4 2, 3 0 0	8 9. 3	1 2, 9 9 0, 0 0 0	1. 2 5 ~ 4. 3 0
3 4, 9 4 1, 6 0 0	9 0. 2	3 3, 7 1 7, 0 0 0	3. 2 5 ~ 5. 1 5
1, 8 1 7, 3 5 0	9 4. 1	1, 7 8 6, 5 0 0	3. 1 ~ 4. 3 0
4 2 1, 8 0 0	9 0. 7	4 0 8, 1 0 0	5. 1 0 ~ 5. 3 1
1 2 7, 4 0 0	9 1. 5	1 2 5, 0 0 0	3. 1 0 ~ 3. 3 0
9 7, 9 3 6, 4 0 0	9 0. 9	9 3, 6 8 4, 0 0 0	1. 2 5 ~ 5. 3 1
1 1 2, 0 2 7, 8 2 0	9 2. 4	1 0 7, 8 1 8, 7 0 0	2. 2 0 ~ 6. 1 0
2, 7 0 3, 0 3 0	9 1. 6	2, 3 7 7, 0 0 0	4. 7 ~ 5. 7
1, 0 0 9, 7 6 0	9 5. 2	1, 0 0 0, 0 0 0	4. 1 0 ~ 4. 1 1
2 6 0, 1 0 0	8 2. 7	2 6 0, 0 0 0	5. 1 0 ~ 6. 1 5
2, 1 7 2, 9 0 0	8 9. 7	1, 9 6 4, 3 0 0	2. 1 0 ~ 4. 2 0
		1 0 0, 0 0 0	3. 1 ~ 4. 2 0
6, 1 4 5, 7 9 0	9 1. 1	5, 7 0 1, 3 0 0	2. 1 0 ~ 6. 1 5
1 4, 6 2 7, 8 0 0	8 4. 3	1 3, 2 9 3, 0 0 0	2. 1 0 ~ 5. 2 9
1 0, 4 5 3, 3 0 0	8 5. 4	9, 1 8 8, 9 0 0	1. 2 4 ~ 4. 3 0
2, 1 2 6, 5 0 0	8 2. 1	2, 1 2 0, 0 0 0	3. 2 0 ~ 5. 2 3
1, 0 3 4, 6 0 0	9 3. 0	1, 0 0 4, 0 0 0	4. 1 ~ 4. 3 0
4, 7 7 9, 0 0 0	9 2. 0	4, 6 5 4, 0 0 0	4. 1 9 ~ 4. 3 0
1, 2 8 6, 9 0 0	9 7. 1	1, 0 7 1, 9 0 0	3. 7 ~ 3. 2 5
4 4 0, 6 0 0	9 6. 2	4 4 0, 0 0 0	3. 1 ~ 4. 1 0
—	—	2 1 0, 0 0 0	3. 7
—	—	1, 1 7 6, 5 0 0	3. 1 ~ 4. 1 0
2 0, 1 2 0, 9 0 0	8 6. 7	1 9, 8 6 5, 3 0 0	1. 2 4 ~ 5. 2 3
3 1, 5 8 5, 4 6 0,	8 5. 0	2 7, 4 4 6, 7 8 0	1. 1 6 ~ 6. 2 0

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
渡 島	尻 別	4 5 7, 3 0 0 粒	2 5, 4 0 0 粒
	利 別	1, 0 2, 0, 5 0 0	3 8, 2 0 0
	厚 沢 部	1, 5 8 0, 0 0 0	9 3, 1 0 0
	知 内	4 1 5, 0 0 0	2 2, 5 0 0
	(茂 辺 地)	9, 4 4 3, 0 0 0	1, 2 5 3, 0 0 0
	八 雲	2, 8 2 3, 2 0 0	4 2 3, 5 0 0
	長 万 部	—	—
	本 年	1 5, 7 3 9, 0 0 0	1, 8 5 5, 7 0 0
	計 { 前 年	2 4, 0 9 6, 1 0 0	2, 1 4 9, 6 0 0
	合 計 { 本 年	3 3 0, 4 7 3, 5 4 0	3 9, 2 6 9, 1 6 0
	前 年	4 2 5, 7 9 0, 2 1 0	5 0, 6 2 1, 8 8 5
⑪	1. 試 験 卵		
	知内 (埋没収容卵)	1, 0 9 0, 0 0 0	移 殖 数 1, 0 0 0, 0 0 0
	屯別 (埋没収容卵)	4 0 0, 5 0 0	発 眼 卵 数 3 8 4, 0 0 0
	幌内 (交配試験)	1 0 0, 0 0 0	5, 4 7 0
	2. 分 与 卵		
	八雲 (北大水産部)	8, 0 0 0	
	計	1, 5 9 8, 5 0 0	
	総 計	3 3 2, 0 7 2, 0 4 0	

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
4 3 1, 9 0 0 尾	9 4. 4 %	4 3 1, 0 0 0 尾	4. 1 0 ~ 5. 1 0
9 8 2, 3 0 0	9 6. 3	9 7 2, 0 0 0	3. 9 ~ 4. 2 4
1, 4 8 6, 9 0 0	9 4. 1	1, 4 7 5, 0 0 0	2. 1 1 ~ 3. 2 5
3 9 2, 5 0 0	9 4. 6	3 9 1, 0 0 0	4. 1 ~ 5. 2 2
8, 1 9 0, 0 0 0	8 6. 7	8, 1 9 0, 0 0 0	3. 1 ~ 4. 3 0
2, 3 9 9, 7 0 0	8 5. 0	1, 7 0 8, 9 0 0	2. 2 1 ~ 5. 4
—	—	5 0, 0 0 0	5. 4 ~ 5. 4
1 3, 8 8 3, 3 0 0	8 8. 2	1 3, 2 1 7, 9 0 0	2. 1 1 ~ 5. 2 2
2 1, 9 4 6, 5 0 0	9 1. 0	2 1, 8 1 6, 0 0 0	2. 2 0 ~ 3. 3 1
2 9 1, 2 0 4, 3 8 0	8 8. 1	2 8 0, 7 4 2, 7 0 0	1. 2 4 ~ 6. 3 0
3 7 5, 1 6 8, 3 2 5	8 8. 1	3 5 9, 4 8 8, 8 7 0	1. 1 6 ~ 7. 2 0
—	1 5. 0 %	1 5 0, 0 0 0	サケ♀×カラフトマス♂
9 4, 5 3 0	1 3. 6 %	5 2, 2 0 0	
	9 4. 5	9 0, 9 3 4	

海 区 水 系 別 鮭 卵

海 区	水 系	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
オ コ ツ ク 海 区	常 呂	北 見	8,341,700粒	605,400粒
	岩 尾 別	岩 尾 別	1,422,500	223,300
	斜 里	斜 里	2,030,000	227,400
	藻 琴	藻 琴	5,045,000	467,000
	網 走	網 走	12,553,800	2,240,600
	湧 別	湧 別	17,509,000	2,432,200
	幌 内	幌 内	2,420,000	129,500
	渚 滑	渚 滑	5,543,000	990,000
	徳 志 別	徳 志 別	314,600	54,500
	幌 別	歌 登	2,421,400	248,500
日 本 海 区	屯 別	屯 別		
	海 区 計	本 年	57,601,000	7,618,400
		前 年	78,950,500	10,339,620
根 室 海 区	天 塩	天 塩	2,949,400	246,370
	"	名 寄	1,060,140	50,380
	石 狩	千 才	12,514,000	2,060,700
	"	音 江	2,589,500	463,000
	尻 別	尻 別	457,300	25,400
	利 別	利 別	1,020,500	38,200
	厚 沢 部	厚 沢 部	1,580,000	93,100
	海 区 計	本 年	22,170,840	2,977,150
		前 年	44,814,750	6,753,250
根 室 海 区	標 津	根 室	8,487,510	746,500
	羅 白	羅 白	8,012,500	2,759,920
	薫 別	薫 別	23,117,900	2,041,290
	伊 茶 仁	伊 茶 仁	9,285,000	1,512,300
	標 津	中 標 津	12,140,000	1,533,800

化 放 流 成 績 表

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
7,736,300尾	92.7%	6,765,000尾	3.10~5.10
1,199,200	84.3	1,180,000	6.15~6.20
1,802,600	88.8	1,770,000	4.1~4.30
4,578,000	90.5	4,577,500	4.25~5.12
10,313,200	82.1	9,845,000	2.20~4.30
15,076,800	86.1	14,910,000	3.12~6.15
2,290,500	94.6	2,270,000	5.1~5.15
4,553,000	82.1	4,510,000	4.8~4.27
260,100	82.7	260,000	5.10~6.15
2,172,900	89.7	1,964,300	2.10~4.20
		100,000	3.1~4.20
49,982,600	86.8	48,151,800	2.20~6.20
68,610,880	86.9	67,152,500	3.1~6.10
2,703,030	91.6	2,377,000	4.7~5.7
1,009,760	95.2	1,000,000	4.10~4.11
10,453,300	83.5	9,188,900	1.24~4.15
2,126,500	82.1	2,120,000	3.20~5.23
431,900	94.4	431,000	4.10~5.10
982,300	96.3	972,000	3.9~4.24
1,486,900	94.1	1,475,000	2.11~3.25
13,193,690	86.6	17,563,900	1.24~5.23
38,061,500	84.9	33,448,000	2.20~6.20
7,741,000	99.0	7,663,600	4.8~6.10
5,252,580	65.6	4,200,500	3.1~4.4
2,107,6610	91.1	20,924,400	4.20~6.30
7,772,700	83.7	7,559,300	3.20~6.21
10,606,200	87.4	10,415,200	4.10~6.25

海 区	水 域	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
根 室 海 区	当 幌	計 根 別	1 0 6 5 0 . 5 0 0 粒	1, 4 1 3, 4 0 0 粒
	西 別	虹 別	4 1, 1 7 7, 5 0 0	5, 7 2 2, 8 8 0
	風 連	浜 中	3, 8 8 8, 5 0 0	2 9 0, 1 0 0
	別 当 賀	厚 床	4, 2 1 4, 0 0 0	2 9 2, 1 2 0
	床 丹	(床 丹)	1, 2 1 5, 0 0 0	3 0 7, 7 0 0
	海 区 計	本 年 前 年	1 2 2, 1 8 8, 4 0 0 1 5 1, 6 1 9, 5 6 0	1 6, 6 2 0, 0 1 0 2 1, 2 2 4, 6 9 5
襟 裳 以 東 海 区	十 勝	十 勝	1 4, 4 4 2, 4 0 0	1, 1 9 8, 7 5 0
	別 寒 辺 牛	大 田	5, 2 4 6, 8 0 0	5 2 3, 9 0 0
	釧 路	釧 路	2 2, 2 6 8, 5 0 0	1, 6 9 9, 6 0 0
	"	鶴 居	7, 9 0 5, 0 0 0	6 0 3, 7 0 0
	阿 寒	阿 寒	2, 0 0 2, 5 0 0	2 5 3, 3 0 0
	茶 路	白 糠	4 6 5, 0 0 0	4 3, 2 0 0
	十 勝	札 内	3 8, 7 3 1, 3 0 0	3, 7 8 9, 7 0 0
	"	幕 別	1 4, 6 0 5, 4 0 0	1, 5 6 3, 1 0 0
	"	(利 別)	1 3 9, 2 0 0	1 1, 8 0 0
	歴 舟	大 樹	1, 9 3 1, 8 0 0	1 1 4, 4 5 0
襟 裳 以 西 海 区	海 区 計	本 年 前 年	1 0 7, 7 3 7, 9 0 0 1 2 1, 2 6 0, 7 0 0	9, 8 0 1, 5 0 0 9, 2 3 2, 8 8 0
	元 浦 河	元 浦 河	1, 1 1 2, 6 0 0	7 8, 0 0 0
	静 内	静 内	5, 1 9 8, 5 0 0	4 1 9, 5 0 0
	(鵒 川)	(鵒 川)	4 5 8, 1 0 0	1 7, 5 0 0
	勇 払	勇 払	—	—
	白 老	白 老	1, 3 2 5, 0 0 0	3 8, 1 0 0
	(茂 辺 地)	(茂 辺 地)	9, 4 4 3, 0 0 0	1, 2 5 3, 0 0 0
	遊 楽 部	知 内	4 1 5, 0 0 0	2 2 5, 0 0
	八 雲	八 雲	2, 8 2 3, 2 0 0	4 2 3, 5 0 0
	敷 生	敷 生	—	—
襟 裳 以 西 海 区	長 万 部	長 万 部	—	—

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
9, 2 3 7, 1 0 0 尾	8 6. 7%	9, 1 1 6, 1 0 0 尾	2. 5 ~ 5. 3 0
3 5, 4 5 4, 6 2 0	8 5. 1	3 4, 4 0 4, 8 0 0	3. 1 ~ 4. 3 0
3, 5 9 8, 4 0 0	9 2. 5	3, 3 4 6, 6 0 0	5. 1 5 ~ 5. 2 1
3, 9 2 1, 8 8 0	9 3. 1	3, 9 1 7, 9 0 0	5. 5 ~ 5. 3 1
9 0 7, 3 0 0	7 4. 7	8 9 8, 3 0 0	4. 2 0 ~ 5. 2 0
1 0 5, 5 6 8, 3 9 0	8 6. 4	1 0 2, 4 4 6, 7 0 0	2. 5 ~ 6. 3 0
1 3 0, 3 9 4, 8 6 5	8 6. 0	1 2 5, 7 2 4, 8 9 0	3. 1 ~ 7. 2 0
1 3, 2 4 3, 6 5 0	9 1. 7	1 2, 7 8 0, 2 0 0	4. 1 ~ 5. 3 1
4, 7 2 2, 9 0 0	9 0. 0	4, 4 9 1, 5 0 0	4. 1 ~ 4. 2 8
2 0, 5 6 8, 9 0 0	9 2. 4	1 8, 5 1 1, 9 0 0	3. 2 ~ 4. 3 0
7, 3 0 1, 3 0 0	9 2. 4	7, 1 7 0, 0 0 0	2. 1 5 ~ 5. 3 0
1, 7 4 9, 2 0 0	8 7. 4	1, 7 0 3, 8 0 0	5. 1 ~ 5. 3 1
4 2 1, 8 0 0	9 0. 7	4 0 8, 1 0 0	5. 1 0 ~ 5. 3 1
3 4, 9 4 1, 6 0 0	9 0. 2	3 3, 7 1 7, 0 0 0	3. 2 5 ~ 5. 1 5
1 3, 0 4 2, 3 0 0	8 9. 3	1 2, 9 9 0, 0 0 0	1. 2 5 ~ 4. 3 0
1 2 7, 4 0 0	9 1. 5	1 2 5, 0 0 0	3. 1 0 ~ 3. 3 0
1, 8 1 7, 3 5 0	9 4. 1	1, 7 8 6, 5 0 0	3. 1 ~ 4. 3 0
9 7, 9 3 6, 4 0 0	9 0. 9	9 3, 6 8 4, 0 0 0	1. 2 5 ~ 5. 3 1
1 1 2, 0 2 7, 8 2 0	9 2. 4	1 0 7, 8 1 8, 7 0 0	2. 2 0 ~ 6. 1 0
1, 0 3 4, 6 0 0	9 3. 0	1, 0 0 4, 0 0 0	4. 1 ~ 4. 3 0
4, 7 7 9, 0 0 0	9 2. 0	4, 6 5 4, 0 0 0	4. 1 9 ~ 4. 3 0
4 4 0, 6 0 0	9 6. 2	4 4 0, 0 0 0	3. 1 ~ 4. 1 0
—	—	1, 1 7 6, 5 0 0	3. 1 ~ 4. 1 0
1, 2 8 6, 9 0 0	9 7. 1	1, 0 7 1, 9 0 0	3. 7 ~ 3. 2 5
8, 1 9 0, 0 0 0	8 6. 7	8, 1 9 0, 0 0 0	3. 1 ~ 4. 3 0
3 9 2, 5 0 0	9 4. 6	3 9 1, 0 0 0	4. 1 ~ 5. 2 2
2, 3 9 9, 7 0 0	8 5. 0	1, 7 0 8, 9 0 0	2. 2 1 ~ 4. 2 7
—	—	2 1 0, 0 0 0	3. 7
—	—	5 0, 0 0 0	5. 4 ~ 5. 4

海 区	水 域	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
	海 区 計	{ 本 年 前 年	2 0 7 7 5 4 0 0 粒 2 9 1 4 4 7 0 0	2 2 5 2 1 0 0 粒 3 0 7 1 4 4 0
⑦	合 計	{ 本 年 前 年	3 3 0 4 7 3 5 4 0 4 2 5 7 9 0 2 1 0	3 9 2 6 9 1 6 0 5 0 6 2 1 8 8 5
		増 減	— 9 3 7 2 4 0 7 0	— 1 1 3 5 2 7 2 5
	1. 試 験 卵			
	知 内	埋没収容卵	1 0 9 0 0 0 0	移 殖 数 1 0 0 0 0 0 0
	屯 別	埋没収容卵	4 0 0 5 0 0	発 眼 卵 数 3 8 4 0 0 0
	幌 内	交配試験卵	1 0 0 0 0 0	5 4 7 0
	2. 分 与 卵			
	八雲 (北大水産部)		8 0 0 0	
		計	1 5 9 8 5 0 0	
		総 計	3 3 2 0 7 2 0 4 0	

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
1 8 5 2 3 5 0 0 尾	8 9.2 %	1 8 8 9 6 3 0 0 尾	2.21 ~ 4.30
2 5 0 7 3 2 6 0	8 9.5	2 5 3 4 4 7 8 0	2.20 ~ 5.31
2 9 1 2 0 4 3 8 0	8 8.1	2 8 0 7 4 2 7 0 0	1.24 ~ 6.30
3 7 5 1 6 8 3 2 5	8 8.1	3 5 9 4 8 8 8 7 0	1.16 ~ 7.20
—	—	—	—
8 3 9 6 3 9 4 5		7 9 9 2 2 6 7 0	
—	1 5.0 %	1 5 0 0 0 0	
	1 3.6 %	5 2 2 0 0	
9 4 5 3 0	9 4.5 %	9 0 9 3 4	サケ♀×カラフトマス♂

7 鱒 増

(7) 鱒捕獲採卵概況

鱒の増殖事業を行つているのは北見、根室、天塩、渡島の4支場管内で、事業実施水系は32河川、捕獲採卵実施場所は32ヶ所である。

桜鱒の総捕獲数は3,149尾で計画の23.3%にしか達していない。この魚種の捕獲については時期的な面で困難性があり、沂上量は相当多いと推定されるが計画を達成するには河川気象の条件が良い年でないと難しい。

事業期間は5月～10月までであるが、主群の沂上時期が4月下旬～5月中旬でこの頃は融雪による増水期に当たるため5月初旬からの着業に難点があり、大半が天然繁殖にまかされている。

樺太鱒の総捕獲数は49,504尾で、計画の48.9%である。このうち約80%に当たる38,000尾は根室管内で捕獲したもので、管内達成率は105.1%である。

事業計画と実績

桜 鱒

区 分	昭 和 3 7	
	計 画 数	実 績
捕 獲 数	14,090尾	3,149尾
♀ 使 用 数	7,210	1,522
採 卵 数	15,111,000粒	3,312,860粒
運 搬 害 死 卵 数	—	50,660
収 容 卵 数	14,658,000	3,262,200

樺 太 鱒

区 分	昭 和 3 7	
	計 画 数	実 績
捕 獲 数	101,390	49,504
♀ 使 用 数	43,340	16,795
採 卵 数	57,226,000	20,059,350
運 搬 害 死 卵 数	—	1,117,330
収 容 卵 数	55,512,000	18,942,220

殖 事 業

その他は北見、天塩管内で捕獲したものであるが、これらが計画を下回る成績となつた。

採卵数では桜鱒は約3,300,000粒、樺太鱒は約20,000,000粒となり捕獲数に対しこれらの魚種としては比較的良い採卵率となつた。

即ち、雌使用率は桜鱒が77.2%樺太鱒が76.0%である。

鮭に較べて低いのは鱒の河川滞留期が長いために蓄養が難しい事を示すもので、今後蓄養方法の改良に努め、さけ同様の♀使用率を確保するように努力する必要がある。

並 に 前 年 と の 対 比

年 度 達 成 率	昭 和 3 6 年 度	対 比	
		増	減
23.35	3,825尾	—	676尾
22.20	1,874	—	352
21.92	3,827,860粒	—	515,000粒
—	126,700	—	76,040
22.35	3,701,100	—	438,900

年 度 達 成 率	昭 和 3 6 年 度	対 比	
		増	減
48.82	26,177	23,327	—
38.75	9,009	7,786	—
35.05	13,821,540	6,237,810	—
—	445,540	671,790	—
34.12	13,366,000	5,576,220	—

〔 北 見 支 場 〕

実施水系、11河川、捕獲採卵場所は11ヶ所である。

桜鱒の総捕獲数は1,224尾で計画の34.1%と低調であつたが、前年度に比較すると24%増加している。

これから採卵したものは1,082,700粒で親魚の使用率は83.5%でこれは少々良好な成績である。

樺太鱒の総捕獲数7,908尾で計画の18.8%、これから採卵したものは4,405,400粒で親魚の使用率は80.0%で少々良好であつた。

〔 根 室 支 場 〕

実施水系、12河川、捕獲採卵場所13ヶ所である。

桜鱒の総捕獲数は僅か787尾で計画の15.1%にとどまつた。これから得た採卵数は925,165粒で雌使用率は88.5%で採卵率は良好である。

樺太鱒の総捕獲数は38,210尾で計画の105.1%の高調を示した。

沿岸に於ては標津野付、別海地区が近年にない豊漁に恵まれた。採卵数は14,645,000粒で雌使用率は78.6%であつた。

〔 天 塩 支 場 〕

実施水系は6河川、捕獲採卵場所は6ヶ所である。

桜鱒の総捕獲数は857尾で計画の19.9%に終つた。

これの親魚から得た採卵数は662,500粒で雌使用率は53.2%最も低い率の成績であつた。

樺太鱒の総捕獲数は3,386尾で計画の30.6%、これから採卵したものは約1,000,000粒で、雌使用率は61.9%であり、桜鱒よりは少々良好であるが、他管内に較べてかなり低い成績に終つた。

これは事業期間中の気象状況が悪く降雨増水による捕獲効率の低下と、管内で最もますの沂上が多い徳志川において、その上流にある鉱山の廃液による水質汚濁その被害をうけ親魚の沂上忌避、養魚のへい死等悪条件が重なつたことが主な原因で、特に汚濁被害の防止については抜本的対策が必要である。

〔 渡 島 支 場 〕

この管内は桜鱒だけで、実施水系及実施場所は2ヶ所である。

総捕獲数は281尾で計画に対し29.6%となつた。

事業は9月1日より着手したが、8月中に台風がもたらした豪雨により河川氾濫で相当量の親魚が上流に沂上したとみられ、これがため沂上群の一部しか捕獲出来なかつたと考えられる。

捕獲数は少かつたが採卵数は642,500粒で雌使用率は極めて良好で96.5%の最高率の成績を収めた。

支、事業場別桜鱒、樺太鱒

支 場	事 業 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
北 見	北 見	—尾	—尾	—尾	—尾	—尾	—尾
		257	245	502	66	16	82
	岩 尾 別	236	148	384	231	97	328
		1,024	1,075	2,099	952	300	1,252
	斜 里	100	52	152	81	27	108
		412	396	808	334	101	435
	網 走	—	—	—	—	—	—
		41	49	90	41	13	54
	藻 琴	—	—	—	—	—	—
		11	11	22	6	11	17
	湧 別	—	—	—	—	—	—
		350	541	891	254	118	372
	渚 滑	328	290	618	234	33	267
		512	747	1,259	489	118	607
	幌 内	49	21	70	49	21	70
		1,036	1,201	2,237	777	337	1,114
	計 {	713	511	1,224	595	178	773
		3,643	4,265	7,908	2,919	1,014	3,933
根 室	根 室	—	—	—	—	—	—
		1,064	3,103	4,167	902	305	1,207
	羅 臼	—	—	—	—	—	—
		133	134	267	120	42	162
	藻 別	—	—	—	—	—	—
		17	19	36	9	3	12
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—

親魚捕獲採卵成績表

 註 { 上段 桜鱒
 下段 樺太鱒

採 卵 数	収 容 前 数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使用率	平 均 採 卵 数	期 間
— 粒	— 粒	— 粒	— %	— 粒	—
106,800	2,800	104,000	25.7	1,618	8.1~10.15
500,600	600	500,000	97.9	2,167	6.1~9.30
1,507,200	2,200	1,505,000	100.0	1,651	8.25~10.10
141,000	2,100	138,900	81.0	1,740	7.10~9.13
545,700	8,200	537,500	81.1	1,634	7.13~10.13
—	—	—	—	—	—
58,800	1,800	57,000	100.0	1,415	8.22~10.8
—	—	—	—	—	—
7,600	100	7,500	54.5	1,266	8.21~9.30
—	—	—	—	—	—
317,000	12,000	305,000	72.6	1,248	8.11~10.10
357,400	3,400	354,000	58.5	1,861	5.24~10.3
742,300	12,300	730,000	105.5	1,618	7.30~10.17
83,700	1,200	82,500	100.0	1,708	6.11~9.30
減 (100,737)	(737)	(100,000)	7.50	1,441	6.11~10.20
1,120,000	10,000	1,110,000	7.50	1,441	6.11~10.20
1,082,701	7,300	1,075,400	177.5	2,958	5.24~10.3
減 (100,737)	(737)	(100,000)	80.0	1,511	6.11~10.20
4,405,400	49,400	4,356,000	49.4	2,037	6.9~9.30
702,750	6,650	696,100	77.2	1,559	6.11~10.31
8,745,490	20,4890	8,540,600	77.2	1,559	6.11~10.31
—	—	—	—	—	—
1,087,600	64,100	1,023,500	84.8	1,206	7.15~10.17
—	—	—	—	—	—
150,300	880	149,420	90.2	1,253	7.5~10.10
—	—	—	—	—	—
13,700	800	12,900	52.9	1,522	8.14~9.30

支 場	事 業 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
	伊 茶 仁	一尾	一尾	一尾	一尾	一尾	一尾
		64	92	156	36	19	55
	中 標 別	44	16	60	39	14	53
		979	1,230	2,209	960	510	1,470
	計 根 別	278	209	487	236	142	378
		340	448	788	323	169	492
	虹 別	—	—	—	—	—	—
		13,334	14,113	27,447	9,766	1,692	11,458
	浜 中	83	24	107	78	24	102
		1,291	1,731	3,022	976	331	1,307
	厚 床	80	53	133	76	37	113
		66	52	118	66	21	87
	本 年	485	302	787	429	217	646
	計 {	17,288	20,922	38,210	13,158	3,092	16,250
	前 年	1,430	542	1,972	1,124	350	1,474
		2,834	3,734	6,568	2,408	859	3,267
天 塩	天 塩	—	—	—	—	—	—
		1	4	5	—	—	—
	德 志 別	491	166	657	248	45	293
		763	1,679	2,442	449	72	521
	歌 登	110	90	200	72	20	92
		373	527	900	262	77	339
	屯 別	—	—	—	—	—	—
		22	17	39	7	3	10
	本 年	601	256	857	320	65	385
	計 {	1,159	2,227	3,386	718	152	870
	前 年	229	175	404	120	17	137
		1,427	2,552	3,979	1,034	199	1,233

採 卵 数	収 容 前 数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使用 率	平 均 採 卵 数	期 間
一粒	一粒	一粒	— %	一粒	—
51,400	700	50,700	56.3	1,428	8. 1~10.10
99,250	1,750	97,500	88.6	2,545	
1,394,100	60,800	1,333,300	98.1	1,452	8. 1~10.20
57,100	16,500	55,450	84.9	2,419	5.15~10.20
437,100	36,600	400,500	95.0	1,453	8. 1~10.20
—	—	—	—	—	—
9,768,470	868,470	8,900,000	73.2	1,000	7.15~10.20
127,115	1,115	126,000	94.0	1,630	6.21~10.10
1,657,710	19,710	1,638,000	75.6	1,698	6.21~10.20
127,800	300	127,500	95.0	1,682	7.21~10. 3
85,220	220	85,000	100.0	1,291	9. 6~10. 3
925,165	19,665	905,500	88.5	2,157	5.15~10.20
14,645,600	1,052,280	13,593,320	76.1	1,388	6.21~10.20
2,170,303	92,803	2,077,500	78.6	1,930	6.21~10.20
3,443,673	230,873	3,212,800	85.0	1,465	7.15~10.15
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
540,000	8,200	531,800	50.5	2,177	6.10~10.10
645,500	12,800	632,700	68.8	1,438	6.28~10.13
122,500	1,000	121,500	65.5	1,701	6. 1~ 9.25
356,000	2,800	353,200	70.2	1,359	7.11~10. 5
—	—	—	—	—	—
7,050	50	7,000	31.8	1,007	8.21~ 9.30
662,500	9,200	653,300	53.2	2,070	6. 1~10.10
1,008,550	15,650	992,900	61.9	1,405	6.28~10.13
229,200	4,650	294,550	58.8	2,472	6. 9~10.10
1,591,500	27,500	1,564,000	73.1	1,539	7.11~10.31

支 場	事 業 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
渡 島	尻 別	228 ^尾	53 ^尾	281 ^尾	220 ^尾	52 ^尾	272 ^尾
		—	—	—	—	—	—
		228	53	281	220	52	272
		—	—	—	—	—	—
		295	169	464	285	109	394
	計 { 本 年 前 年	—	—	—	—	—	—
		2,027	1,122	3,149	1,564	512	2,076
		22,090	27,414	49,504	16,795	4,258	21,053
		2,652	1,173	3,825	1,874	583	2,457
		11,513	14,664	26,177	9,009	2,758	11,707

採 卵 数	収 容 前 数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使用率	平 均 採 卵 数	期 間
642,500 ^粒	14,500 ^粒	628,000 ^粒	96.5%	2,920 ^粒	9. 1~10.31
642,500	14,500	628,000	96.5	2,920	9. 1~10.31
—	—	—	—	—	—
653,500	22,500	631,000	96.6	2,293	9. 1~10.10
—	—	—	—	—	—
試 100,737	737	100,000	—	—	—
3,312,865	50,665	3,262,200	77.2	2,118	5.15~10.20
20,160,287	1,118,067	19,042,220	76.0	2,118	6.11~10.31
3,827,860	126,700	3,701,160	70.7	2,043	6. 9~10.10
13,821,540	455,540	13,366,000	78.3	1,534	6.11~10.31

海区水系別桜鱒稚太

海区	水系	採卵場	捕獲数			使用親魚数		
			♀	♂	計	♀	♂	計
オ ホ ッ ク 海 区	岩尾別	岩尾別	236	148	384	231	97	328
			952	1,009	1,961	952	300	1,252
	ルシヤ	ルシヤ	—	—	—	—	—	—
			72	66	138	0	0	0
	斜里	斜里	100	52	152	81	27	108
			412	396	808	334	101	435
	藻琴	藻琴	—	—	—	—	—	—
			11	11	22	6	11	17
	網走	網走	—	—	—	—	—	—
			41	49	90	41	13	54
	常呂	常呂	—	—	—	—	—	—
			257	245	502	66	16	82
	湧別	湧別	—	—	—	—	—	—
			350	541	891	254	118	372
	渚滑	渚滑	328	290	618	234	33	267
			487	713	1,200	466	107	573
	興部	興部	—	—	—	—	—	—
			25	34	59	23	11	34
	雄武	雄武	—	—	—	—	—	—
			173	193	366	119	59	178
	幌内	幌内	49	21	70	49	21	70
			863	1,008	1,871	658	278	936
音標	音標	音標	—	—	—	—	—	—
			123	245	368	76	15	91
	風烈布	風烈布	—	—	—	—	—	—
			149	261	410	108	25	133

鱒親魚捕獲採卵成績表

 註 { 上段 桜鱒
下段 稚太鱒

採卵数	収容前数	収容卵数	♀親魚使用率	平均採卵数	期日
500,600 ^粒	600 ^粒	500,000 ^粒	97.9%	2,167 ^尾	6.1~9.3.0
1,507,200	2,200	1,505,000	100.0	1,651	7.21~10.3.1
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	8.25~10.1.0
141,000	2,100	138,900	81.0	1,740	7.1.0~9.3.0
545,700	8,200	537,500	81.1	1,634	7.13~10.1.3
—	—	—	—	—	—
7,600	100	7,500	54.5	1,266	8.21~9.3.0
—	—	—	—	—	—
58,800	1,800	57,000	100.0	1,415	8.2.2~10.8
—	—	—	—	—	—
106,800	2,800	104,000	25.7	1,618	8.1~10.1.5
—	—	—	—	—	—
317,000	12,000	305,000	72.6	1,248	8.1.1~10.1.0
357,400	3,400	354,000	58.5	1,527	5.24~10.3
727,000	12,000	715,000	95.7	1,560	7.30~10.1.7
—	—	—	—	—	—
15,300	300	15,000	94.0	665	8.21~10.7
—	—	—	—	—	—
176,900	1,900	175,000	69.1	1,418	7.11~10.2.0
83,700	1,200	82,500	100.0	1,708	6.11~9.3.0
試(100,737)	(737)	(100,000)	76.2	1,433	6.11~10.2.0
943,100	8,100	935,000	—	—	—
—	—	—	—	—	—
127,500	3,800	123,700	61.8	1,678	8.1~10.2.0
—	—	—	—	—	—
140,500	3,200	137,300	72.5	1,301	8.1~10.2.0

海 区	水 系	採卵場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
			♀ 尾	♂ 尾	計 尾	♀ 尾	♂ 尾	計 尾
オ ホ ノ ミ ツ ク 海 区	徳志別	徳志別	491	166	657	248	45	293
	硯別	北見硯別	491	1,173	1,664	265	32	297
	硯別	北見硯別	110	90	200	72	20	92
	屯別	屯別	373	527	900	262	77	339
	屯別	屯別	—	—	—	—	—	—
	屯別	屯別	22	17	39	7	3	10
	海區計	本年	1,314	767	2,081	915	243	1,158
	海區計	前年	4,801	6,488	11,288	3,637	1,166	4,803
	海區計	前年	906	442	1,348	451	121	572
	海區計	前年	8,661	10,901	19,652	6,590	1,891	8,481
根 室 海 区	サルシイ	サルシイ	—	—	—	—	—	—
	羅白	羅白	28	28	56	24	—	24
	羅白	羅白	—	—	—	—	—	—
	春刈古丹	春刈古丹	29	32	61	23	—	23
	春刈古丹	春刈古丹	—	—	—	—	—	—
	植別	植別	76	74	150	73	42	115
	植別	植別	—	—	—	—	—	—
	忠類	忠類	17	19	36	9	3	12
	忠類	忠類	—	—	—	—	—	—
	標津	標津	64	92	156	36	19	55
	標津	標津	—	—	—	—	—	—
	武佐	武佐	1,064	3,103	4,167	902	305	1,207
	武佐	武佐	44	16	60	39	14	53
	当硯	当硯	979	1,230	2,209	960	510	1,470
	当硯	当硯	158	143	301	139	96	235
	春別	春別	180	278	458	176	93	269
	春別	春別	49	30	79	31	15	46
	春別	春別	38	41	79	30	17	47

採卵数	収死 容卵 前数	収容卵数	♀親魚 使用率	平均 採卵数	期 間
540,000	8,200	531,800	50.6%	2,177	6.10~10.10
377,500	5,800	371,700	54.0	1,425	6.28~10.15
122,500	1,000	121,500	65.6	1,701	6.30~9.25
356,000	2,800	353,200	70.2	1,359	7.10~10.5
7,059	50	7,009	61.6	1,007	8.20~9.30
1,745,200	9,600	1,735,600	66.4	1,999	5.24~10.10
武・(100,737)	(737)	(100,000)	75.8	1,386	6.1~10.20
544,395	65,000	538,395	49.6	2,151	6.9~9.30
939,850	10,730	929,120	76.1	1,561	6.1~10.31
10,285,890	25,020	10,260,870	—	—	—
30,300	300	30,000	85.7	1,233	7.26~10.10
34,900	170	34,730	79.3	1,517	7.14~9.30
8,510	410	8,469	96.1	1,657	7.5~10.10
13,700	800	12,900	52.9	1,522	8.14~9.30
51,400	700	50,700	56.3	1,428	8.1~10.10
10,876,000	64,100	10,235,000	84.8	1,206	7.15~10.17
99,250	1,750	97,500	88.6	2,545	8.1~10.20
1,394,100	60,800	1,333,300	98.1	1,452	8.1~10.20
303,800	7,800	296,000	88.0	2,186	5.15~10.20
216,200	7,700	208,500	97.8	1,228	8.15~10.20
94,400	2,400	92,000	63.3	3,045	5.15~10.10
35,900	6,400	29,500	78.9	1,197	8.1~10.10

海 区	水 系	採 卵 場	捕 ♀	獲 ♂	数 計	使 用 親 魚 数		
						♀	♂	計
根 室 海 区	床 丹	床 丹	71尾	36尾	107尾	66尾	31尾	97尾
			122	129	251	117	59	176
	西 別	十 四 線	—	—	—	—	—	—
			13,334	14,113	27,447	9,766	1,692	11,458
	風 連	風 連	83	24	107	78	24	102
			1,291	1,731	3,022	976	331	1,307
	別 当 賀	別 当 賀	80	53	133	76	37	113
			66	52	118	66	21	87
	海 区 計	本 年	485	302	787	429	217	646
		前 年	17,288	20,922	38,210	13,158	3,092	16,250
		前 年	1,430	542	1,972	1,124	350	1,474
		前 年	2,834	3,734	6,568	2,408	861	3,269
日 本 海 区	天 塩	佐 久	—	—	—	—	—	—
			1	4	5	—	—	—
	尻 別	名 駒	214	51	265	214	51	265
			—	—	—	—	—	—
	朱 太	朱 太	14	2	16	6	1	7
			—	—	—	—	—	—
	海 区 計	本 年	228	53	281	220	52	272
		前 年	1	4	5	—	—	—
		前 年	316	189	505	299	112	411
		前 年	18	29	47	11	6	17
	合 計 {	本 年	2,027	1,122	3,149	1,564	512	2,076
		前 年	22,090	27,414	49,504	16,795	4,258	21,053
		前 年	2,652	1,173	3,825	1,874	583	2,457
		前 年	11,513	14,664	26,177	9,009	2,758	11,707

採 卵 数	収 容 卵 数	収 容 卵 数	♀ 使 用 率	平 均 数	期 間
172,800粒	6,300粒	166,500粒	93.0%	2,618尾	5.15~10.10
185,000	22,500	162,500	95.9	1,581	8.1~10.20
—	—	—	—	—	—
9,768,470	868,470	8,900,000	73.2	1,000	7.15~10.20
127,115	1,115	126,000	94.0	1,630	6.21~10.10
1,657,710	19,710	1,638,000	75.6	1,682	6.21~10.20
127,800	300	127,500	95.0	1,682	6.21~10.20
85,220	220	85,000	100.0	1,291	9.6~10.3
925,165	19,665	905,500	88.5	2,157	5.15~10.20
14,645,600	1,052,280	13,593,320	76.1	1,388	6.21~10.20
2,170,310	9,280.3	2,077,500	78.6	1,931	6.12~10.10
3,528,850	225,050	3,303,800	85.0	1,465	7.5~10.10
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	8.1~10.10
627,500	14,200	613,300	100.0	2,932	9.1~10.10
—	—	—	—	—	—
15,000	300	14,700	42.9	2,450	9.14~10.31
—	—	—	—	—	—
642,500	14,500	628,000	96.5	2,691	—
—	—	—	—	—	—
687,700	23,150	664,500	94.6	2,300	9.1~10.10
6,800	200	6,600	61.1	618	9.1~10.10
3,312,865	50,665	3,262,200	77.2	2,118	5.15~10.20
20,160,287	1,118,067	19,042,220	76.0	1,194	6.11~10.31
3,827,860	126,700	3,701,160	70.7	2,043	6.9~10.10
13,827,600	455,540	13,366,000	78.3	1,534	6.11~10.31

支事業場別桜鱒、樺

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
北 見	北 見	— 粒	— 粒
		1 0 4, 0 0 0	5. 7 0 0
	岩 尾 別	5 0 0, 0 0 0	2. 3 0 0
		1, 5 0 5, 0 0 0	6. 6 0 0
	斜 里	1 3 8, 9 0 0	1 9. 8 0 0
		5 3 7, 5 0 0	1 0 4. 7 0 0
	藻 琴	—	—
		7. 5 0 0	5 0 0
	網 走	—	—
		5 7, 0 0 0	1 0, 0 0 0
	湧 別	3 5 4, 0 0 0	4 4, 0 0 0
		1, 0 3 5, 0 0 0	1 6 7, 0 0 0
	幌 内	8 2, 5 0 0	3. 5 0 0
		1, 1 1 0, 0 0 0	5 0, 3 0 0
		1, 0 7 5, 4 0 0	6 9, 6 0 0
	本 年	4, 3 5 6, 0 0 0	3 4 4, 8 0 0
合 計	前 年	6 9 6, 1 0 0	5 5, 6 3 0
		8, 5 3 4, 1 0 0	5 2 2, 0 5 0
根 室	根 室	—	—
		6 1 7, 4 0 0	5 5, 0 0 0
	羅 白	—	—
		1 4 9, 4 2 0	3 9, 6 4 0
	薫 別	2 5, 5 0 0	1, 5 6 0
		4 9 7, 9 0 0	2 8, 1 0 0
	伊 茶 仁	7 2, 0 0 0	9, 0 0 0
		3 0 1, 5 0 0	3 1, 9 0 0

太鱒孵化放流成績表

上段 桜 鱒
下段 樺太鱒

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間 自 志
— 粒	— %	— 粒	—
9 8, 0 0 0	9 4. 5	9 8, 0 0 0	3. 1 ~ 3. 3 1
4 9 7, 7 0 0	9 9. 4	4 9 5, 0 0 0	4. 2 0 ~ 4. 3 0
1, 4 9 8, 4 0 0	9 9. 5	1, 4 9 3, 0 0 0	4. 2 0 ~ 4. 3 0
1 1 9, 1 0 0	8 5. 8	1 1 0, 0 0 0	2. 1 ~ 2. 2 0
4 3 2, 8 0 0	8 0. 5	4 0 1, 0 0 0	2. 1 ~ 3. 1 0
—	—	—	—
7, 0 0 0	9 3. 4	6, 9 0 0	4. 1 5 ~ 4. 2 0
—	—	—	—
4 7, 0 0 0	8 2. 4	4 6, 0 0 0	2. 2 3 ~ 2. 2 8
3 1, 0, 0 0 0	8 7. 6	3 0 5, 0 0 0	3. 4 ~ 3. 3 0
8 6 8, 0 0 0	8 3. 9	8 5 5, 0 0 0	3. 4 ~ 3. 3 0
7 9, 0 0 0	9 5. 8	7 7, 5 0 0	4. 1 ~ 4. 3 0
1, 0 5 9, 7 0 0	9 5. 5	1, 0 5 0, 0 0 0	4. 1 ~ 4. 3 0
1, 0 0 5, 8 0 0	9 3. 5	9 8 7, 5 0 0	2. 1 ~ 4. 3 0
4, 0 1 1, 2 0 0	9 2. 1	3, 9 4 9, 9 0 0	2. 1 ~ 4. 3 0
6 4 0, 4 7 0	9 2. 0	6 2 6, 7 0 0	3. 1 ~ 4. 3 0
8, 0 1 2, 0 5 0	9 3. 9	7, 9 3 9, 6 0 0	3. 1 ~ 4. 3 0
—	—	—	—
5 6 2, 4 0 0	9 1. 1	5 5 9, 0 0 0	3. 1 ~ 3. 3 1
—	—	—	—
1 0 9, 7 8 0	7 3. 5	1 0 9, 0 0 0	2. 1 ~ 2. 2 8
2 3, 9 4 0	9 4. 1	2, 3, 7 0 0	4. 1 ~ 4. 1 0
4 6 9, 8 0 0	9 4. 4	4 6 7, 0 0 0	4. 1 0 ~ 4. 2 0
6 3, 0 0 0	8 7. 5	6 2, 8 0 0	3. 1 0 ~ 3. 3 1
2 6 9, 6 0 0	8 9. 4	2 6 1, 2 0 0	3. 1 0 ~ 4. 2 0

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
合 計	計 根 別	5 5 4, 5 0 0 粒	1 1 2, 2 0 0 粒
		4 5 6, 5 0 0	9 4, 7 0 0
	虹 別	—	—
		8, 8 2 2, 5 0 0	2, 2 8 8, 8 0 0
	浜 中	1 2 6, 0 0 0	5, 6 9 0
		1, 6 3 8, 0 0 0	7 3, 0 5 0
	厚 床	1 2 7, 5 0 0	8, 9 0 0
		8 5, 0 0 0	3, 6 0 0
	本 年 {	9 0 5, 5 0 0	1 3 7, 3 5 0
	前 年 {	1 2, 5 6 8, 2 2 0	2, 6 1 4, 7 9 0
天 塩		2, 0 7 7, 5 0 0	2 5 9, 5 6 0
		2, 0 8 7, 8 0 0	3 5 0, 6 3 0
	德 志 別	5 3 1, 8 0 0	4 0, 8 0 0
		6 3 2, 7 0 0	5 5, 4 0 0
	歌 登	1 2 1, 5 0 0	1 8, 0 0 0
		3 5 3, 2 0 0	2 9, 8 0 0
	本 年 {	6 5 3, 3 0 0	5 8, 8 0 0
	前 年 {	9 8 5, 9 0 0	8 5, 2 0 0
		2 9 4, 5 5 0	6 8, 6 5 0
		1, 5 2 4, 6 0 0	1 8 9, 3 7 0
渡 島	尻 別	4 7 2, 0 0 0	2 7, 4 0 0
		—	—
	本 年 {	4 7 2, 0 0 0	2 7, 4 0 0
	前 年 {	—	—
		5 9 8, 5 5 0	7 5, 6 5 0
		—	—
	合 計 {		

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間 自 志
4 4 2, 3 0 0 粒	7 9.8%	4 4 2, 0 0 0 粒	2. 1 ~ 4. 1 5
3 6 1, 8 0 0	7 9.3	3 6 1, 5 0 0	2. 1 ~ 4. 1 5
—	—	—	—
6, 5 3 3, 7 0 0	7 4.1	6, 5 1 6, 9 6 0	1 2, 2 0 ~ 1. 3 1
1 2 0, 3 1 0	9 5.5	1 2 0, 0 0 0	4. 1 0 ~ 4. 2 5
1, 5 6 4, 9 5 0	9 5.5	1, 5 2 8, 9 5 0	4. 1 0 ~ 4. 2 5
1 1 8, 6 0 0	9 3.0	1 1 7, 4 0 0	4. 2 0 ~ 4. 3 0
8 1, 4 0 0	9 5.8	8 0, 6 0 0	4. 2 5 ~ 4. 3 0
7 6 8, 1 5 0	8 4.9	7 6 5, 9 0 0	1 2, 2 0 ~ 4. 3 0
9, 9 5 3, 4 3 0	7 9.2	9, 8 8 4, 2 1 0	2. 1 ~ 4. 3 0
1, 8 1 7, 9 4 0	8 7.5	1, 8 0 5, 3 0 0	1. 1 0 ~ 6. 2
1, 7 3 7, 1 7 0	8 3.2	1, 6 9 6, 6 5 0	1. 2 0 ~ 6. 2 0
4 9 1, 0 0 0	9 1.7	4 3 0, 0 0 0	3. 2 0 ~ 4. 3 0
5 7 7, 3 0 0	9 1.6	5 5 0, 0 0 0	4. 1 6 ~ 5. 2 8
1 0 3, 5 0 0	8 5.1	1 0 0, 4 0 0	1 2, 1 0 ~ 1. 2 0
3 2 3, 4 0 0	9 1.6	3 1 9, 0 0 0	1 2, 2 0 ~ 1 2. 2 8
5 9 4, 5 0 0	9 1.0	5 3 0, 4 0 0	1 2, 1 0 ~ 4. 3 0
9 0 0, 7 0 0	9 1.4	8 6 9, 0 0 0	1 2, 2 0 ~ 5. 2 8
2 2 5, 9 0 0	5 0.9	2 2 3, 0 0 0	1. 1 ~ 3. 3 0
1, 3 3 5, 2 3 0	8 2.6	1, 3 1 4, 8 0 0	1. 0 ~ 3. 3 0
4 4 4, 6 0 0	9 4.2	4 4 4, 0 0 0	3. 1 ~ 4. 3 0
—	—	—	—
4 4 4, 6 0 0	9 4.2	4 4 4, 6 0 0	3. 1 ~ 4. 3 0
—	—	—	—
5 2 2, 9 0 0	8 7.4	5 2 1, 5 0 0	2. 2 5 ~ 4. 3 0
—	—	—	—

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
総 計	本 年 { 前 年 {	3,106,200粒	293,150粒
		1,791,012	3,044,790
		3,633,150	431,840
		1,214,650	1,062,050
	備 考		
	1. 桜 鱒		2. 樺 太 鱒
	分 与 卵		(1)埋 没 卵
	尻別より夕張市役所	50,000	屯利事業場
	夕張より北大水産部	6,000	(2)移 殖 卵
	夕張より日光養魚場	100,000	根室支場より
	計	156,000	新潟、山形へ
	総 計	3,262,200	(3)試 験 卵
			交配試験
			計
(参 考)		総 計	
幌 内		100,000	8,490

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間 自 至
2,813,050 粒	90.6%	2,727,800 粒	12.10 ~ 4.30
1,486,533 0	83.0	1,470,311 0	12.20 ~ 4.30
3,201,310	88.1	3,171,500	1.1 ~ 6.2
1,108,445 0	91.1	1,095,105 0	1.20 ~ 6.20
7,000			
1,025,100			
100,000			
1,132,100			
1,904,222 0			
91,510	91.5	58,250	カラフトマス♀× サケ♂交配種

海 区 水 系 別 桜 鱒、 樺

海 区	水 系	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
			— 粒	— 粒
オ ホ ツ ク 海 区	常 呂	北 見	1 0 4, 0 0 0	5, 7 0 0
	岩 尾 別	岩 尾 別	5 0 0, 0 0 0	2, 3 0 0
			1, 5 0 5, 0 0 0	6, 6 0 0
	斜 里	斜 里	1 3 8, 9 0 0	1 9, 8 0 0
			5 3 7, 5 0 0	1 0 4, 7 0 0
	藻 琴	藻 琴	—	—
			7, 5 0 0	5 0 0
	網 走	網 走	—	—
			5 7, 0 0 0	1 0, 0 0 0
	湧 別	湧 別	3 5 4, 0 0 0	4 4, 0 0 0
			1, 0 3 5, 0 0 0	1 6 7, 0 0 0
	幌 内	幌 内	8 2, 5 0 0	3, 5 0 0
			1, 1 1 0, 0 0 0	5 0, 3 0 0
	徳 志 別	徳 志 別	5 3 1, 8 0 0	4 0, 8 0 0
			6 3 2, 7 0 0	5 5, 4 0 0
	幌 別	歌 登	1 2 1, 5 0 0	1 8, 0 0 0
			5 5 3, 2 0 0	2 9, 8 0 0
		本 年	1, 7 2 8, 7 0 0	1 2 8, 4 0 0
	海 区 計		5, 3 4 1, 9 0 0	4 3 0, 0 0 0
			9 5 7, 1 0 0	9 6, 6 3 0
		前 年	1 0 0 5 2, 1 0 0	7 0 9, 9 5 0
			—	—
	標 津	根 室	—	—
			6 1 7, 4 0 0	5 5, 0 0 0
	羅 白	羅 白	—	—
			1 4 9, 4 2 0	3 9, 6 4 0

太 鱒 孵 化 放 流 成 績 表

 註 上段 桜 鱒
 下段 樺 太 鱒

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間	
			自	至
— 粒	— %	— 粒	—	
9 8, 3 0 0	9 4.5	9 8, 0 0 0	3. 1 ~	3. 3 1
4 9 7, 7 0 0	9 9.5	4 9 5, 0 0 0	4. 2 0 ~	4. 3 0
1, 4 9 8, 4 0 0	9 9.5	1, 4 9 3, 0 0 0	4. 2 0 ~	4. 3 0
1 1 9, 1 0 0	8 5.8	1 1 0, 0 0 0	2. 1 ~	2. 2 0
4 3 2, 8 0 0	8 0.5	4 0 1, 0 0 0	2. 1 ~	3. 1 0
—	—	—	—	—
7, 0 0 0	9 3.4	6, 9 0 0	4. 1 5 ~	4. 2 0
—	—	—	—	—
4 7, 0 0 0	8 2.4	4 6, 0 0 0	2. 2 3 ~	2. 2 8
3 1 0, 0 0 0	8 7.6	3 0 5, 0 0 0	3. 4 ~	3. 3 0
8 6 8, 0 0 0	8 3.9	8 5 5, 0 0 0	3. 4 ~	3. 3 0
7 9, 0 0 0	9 5.8	7 7, 5 0 0	4. 1 ~	4. 3 0
1, 0 5 9, 7 0 0	9 5.5	1, 0 5 0, 0 0 0	4. 1 ~	4. 3 0
4 9 1, 0 0 0	9 1.7	4 3 0, 0 0 0	3. 2 0 ~	4. 3 0
5 7 7, 3 0 0	9 1.6	5 5 0, 0 0 0	4. 1 6 ~	5. 2 8
1 0 3, 5 0 0	8 5.1	1 0 0, 4 0 0	1 2. 1 0 ~	1. 2 0
3 2 3, 4 0 0	9 1.5	3 1 9, 0 0 0	1 2. 2 0 ~	2. 2 8
1, 6 0 0, 3 0 0	9 2.6	1, 5 1 7, 9 0 0	2. 1 ~	4. 3 0
4, 9 1 1, 9 0 0	9 2.0	4, 8 1 8, 9 0 0	2. 1 ~	5. 2 8
8 6 0, 4 7 0	8 9.9	8 4 4, 7 0 0	3. 1 ~	5. 3 1
9, 3 4 2, 1 5 0	9 2.9	9, 2 4 9, 6 0 0	3. 1 ~	5. 3 1
—	—	—	—	—
5 6 2, 4 0 0	9 1.1	5 5 9, 0 0 0	3. 1 ~	3. 3 1
—	—	—	—	—
1 0 9, 7 8 0	7 3.5	1 0 9, 0 0 0	2. 1 ~	2. 2 8

海 区	水 系	事 業 場	收 容 卵 数	死 卵 数
根 室 海 区	燕 別	燕 別	25,500粒	1,560粒
			497,900	28,100
	伊 茶 仁	伊 茶 仁	72,000	9,000
			301,500	31,900
	当 峴	計 根 別	554,500	112,200
			456,500	94,700
	西 別	虹 別	—	—
			8,822,500	2,288,800
	風 連	浜 中	126,000	5,690
			1,638,000	73,050
	別 当 賀	厚 床	127,500	8,900
			85,000	3,600
			905,500	137,350
	海 区 計	本 年 {	12,568,220	2,614,790
		前 年 {	2,077,500	259,560
			2,087,800	350,630
日 本 海 区	尻 別	尻 別	472,000	27,400
			—	—
			472,000	27,400
	海 区 計	本 年 {	—	—
		前 年 {	598,550	75,650
	合 計	本 年 {	3,106,200	293,150
			17,910,120	3,044,790
		前 年 {	3,633,150	431,840
			12,146,500	1,062,050

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
			自 至
23,940粒	94.1%	23,700粒	4. 1 ~ 4. 10
469,600	94.4	467,000	4. 10 ~ 4. 20
63,000	87.5	62,800	3. 10 ~ 3. 31
269,600	89.4	261,200	3. 10 ~ 4. 20
442,300	79.8	442,000	2. 10 ~ 4. 15
361,800	79.3	361,500	2. 1 ~ 4. 15
—	—	—	—
6,533,700	74.1	6,516,960	1. 2. 20 ~ 1. 3. 1
120,310	95.5	120,000	4. 10 ~ 4. 25
1,564,950	95.5	1,528,950	4. 10 ~ 4. 25
118,600	93.0	117,400	4. 20 ~ 4. 30
81,400	95.8	80,600	4. 20 ~ 4. 30
768,150	84.9	765,900	2. 1 ~ 4. 15
9,953,430	79.2	9,884,210	1. 2. 20 ~ 4. 30
1,817,940	87.5	1,805,300	1. 10 ~ 6. 2
1,737,170	83.2	1,696,650	1. 20 ~ 6. 20
444,600	94.2	444,000	3. 1 ~ 4. 30
—	—	—	—
444,600	94.2	444,000	3. 1 ~ 4. 30
—	—	—	—
522,900	87.4	521,500	2. 5 ~ 2. 5
—	—	—	—
2,813,050	90.6	2,727,800	2. 1 ~ 4. 15
14,865,330	83.0	14,703,110	1. 2. 20 ~ 4. 30
3,201,310	88.1	3,171,500	1. 1 ~ 6. 2
11,084,450	91.3	10,951,050	1. 20 ~ 6. 20

海 区	水 系	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数
		備 考		
		1. 桜 鱒		2. 樺太鱒
		分与卵		(1) 埋没卵
		尻別より夕張市役所 50,000		屯別事業場
		尻別より北大水産学部 6,000		(2) 移殖卵
		尻別より日光養魚場 100,000		根室支場より
		計 156,000		新潟、山形へ
		総 計 3,262,200		(3) 試験卵
				交配試験
				総 計
オホーツク	幌 内	幌 内	100,000粒	8,490粒
	(参 考)			

孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
			自 至
7,000			
1,025,100			
100,000			
19,042,220			
91,510粒	91.5%	58,250粒	カラフトマス♀ ×サケ♂交配種

8. 鮭 鱒 親 魚 蓄 養 成 績

蓄養施設の概況は例年殆んど変つていないもので省略する。

(1) 鮭親魚蓄養成績概況

本年度鮭親魚の蓄養を行つた採卵場は岩尾別外65個所で、雌総捕獲数172,221尾の内

鮭 蓄 養

採卵場	捕獲数			即日 使用♀	即日 使用率	♀			♀ 総使 用数	♀ 使用率
	♀	♂	計			要蓄 養数	蓄養数	率		
常呂	4638	5450	10088	118	25	4520	4398	973	3286	708
岩尾別	165	158	323	140	242	125	125	100.0	165	100.0
斜里	840	706	1546	174	207	666	649	974	797	97.3
藻琴	179	112	291	10	56	169	169	100.0	179	100.0
網走	7964	8822	16786	48	0.7	7916	7886	99.0	7862	98.7
西網走	941	536	1477	600	63.8	341	330	96.8	941	100.0
湧別	10513	9124	19637	10	0.1	10503	10461	99.6	9984	94.9
落滑	817	872	1689	0	0	817	794	97.2	781	95.6
幌内	868	1033	1901	64	7.4	804	804	100.0	862	99.3
合計	26925	26813	53738	1164	39	25861	25616	98.6	24857	92.4
別寒江	4698	4159	8857	974	20	3724	3666	98.3	4531	96.4
茅沼	5682	5852	11534	200	3.5	5482	5482	100	5583	98.5
雪裡	7581	6261	13842	1002	13.2	6579	6576	99.9	7072	93.3
阿寒	577	368	945	17	29	560	560	100.0	559	96.6
茶路	295	210	505	25	85	270	270	100.0	282	95.6
音別	48	84	132	—	21	47	36	76.6	9	18.8
十勝太	5213	7247	12460	0	0	5213	4767	91.4	987	18.9
打内	21245	41727	62972	0	0	21245	20572	96.8	10992	51.7
東33号	3129	4308	7437	0	0	3129	3003	96.0	1015	32.4
千代田	8713	9746	18459	0	0	8713	8693	99.8	7146	82.0
東15号	40	154	194	2	50	38	38	100.0	40	100
利別	133	303	436	0	0	133	133	100.0	69	51.9
幕別	2903	3126	6029	0	0	2903	2874	99.0	2411	83.0
歴舟	411	476	887	370	90	41	27	65.9	394	95.9
合計	60668	84021	144689	2591	43	58077	56697	97.6	41090	67.7

140,307尾を蓄養し116,139尾(蓄養数に対し82.8%)を採卵に使用した。

これに雌即日使用数23,589尾(雌総捕獲数の13.7%)を加えると全部で139,728尾(雌使用率81.1%)の雌が採卵に供された。

なお蓄養中の斃死数19,051尾(蓄養数に対する13.6%)を示していることは蓄養技術上、研究の要することであり、未利用親魚の高度利用に努めることが問題として残されている。

成 績 表

蓄 養 内 訳										そ の 他			
蓄 養 数			♀				逃 逸 数						
♀	♂	計	斃死	率	催 熟	率	♀	♂	計	老 魚	調 査	未 熟	成 熟 不 能
4398	1458	5856	1230	27.9	3168	720	0	0	0	0	392	0	0
125	47	172	0	0	25	100	0	0	0	0	0	0	0
649	243	892	4	0.4	623	96.0	17	17	34	1	3	2	2
169	103	272	0	0	169	100.0	0	0	0	0	0	0	0
7886	2142	10028	72	0.9	7814	99.0	0	0	0	0	0	0	0
330	297	627	0	0	341	100.0	0	0	0	0	31	0	0
10461	4820	15281	412	3.9	9974	95.3	0	0	0	70	0	5	0
794	380	1,174	13	1.64	781	98.4	0	0	0	0	0	0	0
804	359	1,163	6	0.9	798	99.3	0	0	0	0	0	0	0
25316	9849	35465	1,737	68	23693	92.8	17	17	34	71	126	7	2
3666	3010	6676	—	—	3557	97.1	73	70	143	14	—	19	—
5482	1913	7395	99	18.0	5383	98.1	—	—	—	—	—	—	—
6576	3,623	10,199	243	3.7	6070	92.3	—	—	—	32	—	—	231
560	242	802	18	3.2	542	96.8	—	—	—	—	—	—	—
270	85	355	13	4.8	257	95.2	—	—	—	—	—	—	—
36	10	46	2	5.6	8	22.2	26	5	31	—	—	—	—
4767	66	4,833	3773	79.1	987	20.7	7	—	7	—	—	—	—
20572	2312	22884	5412	26.3	10992	53.4	4168	—	4168	—	—	—	—
3003	533	3536	1,988	66.2	1015	33.8	—	—	—	(未取)	—	—	—
8693	1,971	10,664	1547	17.8	7146	82.2	—	—	—	—	—	—	—
38	29	67	—	—	38	100.0	—	—	—	—	—	—	—
133	44	177	64	48.1	69	51.9	—	—	—	—	—	—	—
2874	779	3,653	363	12.6	2411	83.9	94	—	94	6	—	—	—
27	8	35	1	11.1	24	88.9	—	—	(盗難)	—	—	—	—
56697	14625	71322	13523	23.9	38499	67.9	4368	75	4,443	52	—	19	233

項 採 卵 目 場	捕 獲 数			即 日 使用♀	即 日 使用率	♀			♀ 総 用 数	♀ 使 用 率
	♀	♂	計			要 養 蓄 数	蓄 養 数	率		
佐 久	714	593	1,307	38	53	676	676	100.0	669	965
屯 別	1,135	749	1,884	115	10.1	1,020	1,020	100.0	1,124	99.0
徳志別	122	101	223	29	23.7	93	93	100.0	108	88.5
北見別	337	472	809	145	43.0	192	171	89.1	289	85.8
天 塩	100.0	1,466	2,467	—	—	100.1	844	84.4	431	415
合 計	3,309	3,381	6,690	327	10.8	2,982	2,804	94.0	2,641	79.8
名 駒	62	88	150	21	33.9	41	40	97.6	61	98.4
朱 太	142	161	303	0	0	142	128	90.1	120	84.5
利 別	463	591	1,054	140	30.2	323	254	78.7	353	76.2
厚沢部	600	641	1,241	0	0	600	594	99.0	590	98.3
長万部	100	159	259	15	15.0	85	35	44.7	50	50.0
遊楽部	931	844	1,775	420	45.1	511	478	93.5	893	96.5
茂辺地	5,331	4,274	9,605	5,181	97.2	150	0	0	5,181	97.2
知 内	157	173	330	132	84.1	25	20	80.0	152	96.8
合 計	7,786	6,931	14,717	5,909	75.9	1,877	1,549	82.5	7,400	95.0
石 狩	1,471	3,466	4,937	0	0	1,471	618	42.01	78	53.0
音 江	1,246	1,779	3,025	62	48.9	1,184	1,096	92.49	1,111	89.16
西 越	3,203	4,598	7,801	1,451	45.30	1,752	1,752	100.00	3,203	100.00
幌 別	255	343	598	1	0.39	254	246	96.80	219	85.88
元浦河	260	718	978	156	60.00	104	73	70.19	229	88.07
三 石	186	334	520	0	0	175	134	76.57	130	74.29
静 内	2,009	1,493	3,502	502	24.98	1,507	1,497	99.34	1,698	84.52
新 冠	244	304	548	0	0	244	217	88.93	186	76.23
鷗 川	242	265	507	0	0	227	227	100.00	183	80.62
勇 払	955	1,313	2,268	223	23.35	622	401	64.47	624	73.85
白 老	266	275	541	202	75.94	57	49	86.96	246	94.98
敷 生	307	303	610	179	58.31	108	108	100.00	287	100.00
合 計	10,644	15,191	25,835	2,776	26.08	7,705	6,418	83.29	8,194	7,822

養 内 訳										そ の 他			
養 数			♀				逃 逸 数			そ の 他			
♀	♂	計	斃 死	率	催 熟	率	♀	♂	計	老 魚	調 査	未 熟	成 熟 不 能
676	147	823	25	3.7	651	96.3	—	—	—	—	—	—	—
1,020	402	1,422	7	0.7	1,009	99.3	4	19	23	0	2	0	0
93	20	113	14	15.0	79	84.9	—	—	—	—	—	—	—
171	58	229	27	15.8	144	84.2	—	—	—	—	—	—	—
844	160	1,004	413	47.6	431	52.4	—	—	—	10	—	1	—
2,804	787	3,591	486	16.9	2,314	83.1	4	19	23	10	2	1	—
40	71	111	0	0	40	100.0	0	0	0	1	0	0	0
128	146	274	0	0	120	93.8	0	0	0	14	0	0	8
254	91	345	39	11.4	213	83.9	0	0	0	2	0	69	0
594	511	1,105	0	0	590	99.3	0	0	0	10	0	0	0
35	14	49	0	0	35	100.0	0	0	0	3	0	47	—
478	444	922	0	0	473	100.0	0	0	0	27	0	6	0
0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	100	0
20	11	31	0	0	20	100.0	0	0	0	5	0	0	0
1,549	1,288	2,837	39	11.4	1,491	96.6	0	0	0	112	0	216	8
618	14	632	504	81.55	78	12.62	0	0	0	0	0	0	6
1,096	212	1,306	46	4.20	1,049	95.80	0	0	0	0	1	0	(盗難) 36
1,752	2746	4,498	0	0	1,752	100.00	0	0	0	0	0	7	0
246	149	395	8	3.25	218	88.62	0	0	0	0	0	0	(盗難) 20
73	47	120	0	0	73	100.00	0	0	0	0	0	0	0
134	54	188	1	0.75	130	100.00	0	0	0	11	0	0	(盗難) 3
1,497	742	2,239	301	20.11	1,196	79.89	0	0	0	0	0	0	(銀毛) 2
217	242	459	17	7.83	186	87.10	0	0	0	0	0	11	0
227	99	326	44	19.38	183	100.00	0	0	0	15	0	0	0
401	456	857	0	0	401	100.00	0	0	0	0	10	0	0
49	10	59	0	0	44	100.00	0	0	0	7	0	0	5
108	26	134	0	0	108	100.00	0	0	0	20	0	0	0
6,418	4,797	11,215	921	14.35	5,418	84.53	0	0	0	53	111	18	(盗難) 64 5

項 採 目 卵 場	捕 獲 数			即 日 使用♀	即 日 使用率	♀			♀ 総 使用数	♀ 使用率
	♀	♂	計			要 養 数	蓄 養 数	率		
羅 白	2736	1,301	4037	2523	922	213	22	1032	2535	92.7
春久古丹	46	35	81	2	43	44	44	1000	44	95.7
植 別	310	241	551	48	15.5	262	252	962	260	90.3
元崎無異	32	32	64	5	15.6	27	25	92.6	24	75.0
崎無異	142	148	290	17	11.9	125	122	97.6	126	88.7
燕 別	698	1,027	1,725	150	21.5	548	537	980	625	89.5
占多糠	7	10	17	1	14.5	6	6	100.0	6	85.7
忠 類	48	147	195	—	0	48	48	100.0	41	85.4
伊茶仁	175	170	345	—	0	175	175	100.0	173	98.7
標 津	10939	10,260	21,199	723	66	10,216	10,034	98.2	10,390	94.9
武 佐	1,834	1,579	3,413	57	3.1	1,777	1,777	100.0	1,833	99.9
当 鰯	1,649	1,581	3,230	234	14.2	1,415	1,415	100.0	1,618	98.1
春 別	245	170	415	—	0	245	1,245	100.0	240	97.9
床 丹	322	232	554	17	5.3	305	305	100.0	321	99.9
十四線	40,474	41,965	82,439	5581	13.8	34,448	30,448	87.3	34,323	84.3
風 連	1,428	1,702	3,130	—	0	1,428	1,428	100.0	1,563	95.4
別当賀	1,804	1,830	3,634	1,464	81.2	340	340	100.0	1,804	100.0
合 計	62,889	62,430	125,319	10,822	17.2	52,067	47,223	90.7	55,546	88.8
総合計	172,221	198,767	370,988	23,589	13.7	148,569	140,307	94.4	159,728	81.1

～この表の説明～

・催熟率60%以下の個所は音別、十勝太、打内、東33号、利別、天塩、石狩、羅白の各採卵場である。

蓄 養 内 容										そ の 他			
蓄 養 数			♀				逃 逸 数						
♀	♂	計	斃 死	率	催 熟	率	♀	♂	計	老魚調査	未熟	成熟	不能
22	9	31	0	0	12	54.5	0	0	0	0	0	10	0
44	29	73	0	0	42	95.5	0	0	0	0	0	2	0
252	198	450	0	0	232	92.1	0	0	0	13	0	7	0
25	24	49	0	0	19	76.0	0	0	0	5	0	1	0
122	103	225	0	0	109	89.3	0	0	0	8	0	5	0
537	834	1,371	0	0	475	88.6	0	0	0	19	0	1	(盗) 42
6	8	14	0	0	5	83.3	0	0	0	0	0	1	0
48	100	148	7	14.6	41	85.8	0	0	0	0	0	0	0
175	147	322	2	1.1	173	98.9	0	0	0	0	0	0	0
10,034	4851	14,885	357	3.6	9,667	96.3	0	0	0	0	0	0	0
17,77	1,440	32,17	0	0.0	17,76	99.9	0	0	0	0	1	0	(盗) 10
1,415	694	2,109	14	1.0	1,384	97.8	0	0	0	0	0	0	0
245	101	346	5	2.0	240	97.9	0	0	0	0	0	0	0
305	149	454	0	0	304	99.9	0	0	0	1	0	0	(盗) 17
30,448	9,852	40,300	1,906	4.6	28,542	93.7	0	0	0	0	0	0	0
1,428	754	2,182	65	4.6	1,363	95.4	0	0	0	0	0	0	0
340	328	668	0	0	340	100.0	0	0	0	0	0	0	0
47,223	19,621	66,844	2,353	4.9	44,724	94.5	0	0	0	46	1	27	(盗) 69
140,307	50,967	191,274	19,051	13.6	126,339	82.8	4,389	1,111	4,500	3,360	240	288	盗 135 248

台風による被害もあつたが斃死魚数の多い個所は打内5,412尾、十勝太3,773尾、東33号1,988尾、石狩504尾で今後特に蓄養方法の究明、改善が必要である。

(2) 桜鱒蓄養成績概況

桜鱒の蓄養を行った個所は岩尾別外11個所で、雌親魚捕獲数1,799尾のうち1,737尾

(要蓄養数の98.4%)が蓄養され、1,305尾(蓄養数の75.1%)が採卵に供された。

桜鱒親魚蓄養成績表

採卵場	捕獲数			即日 使用♀	即日 使用率	♀			♀ 総使用数	♀ 使用率
	♀	♂	計			要蓄 養数	蓄養数	率		
岩尾内	236	148	384	14	59.3	222	222	100.0	231	97.9
斜里	100	52	152	0	0	100	99	99.0	81	81.0
渚滑	328	290	618	0	0	328	324	98.5	234	71.3
幌内	49	21	70	0	0	49	49	100.0	49	100.0
合計	713	511	1,224	14	19.6	699	694	99.3	595	83.5
徳志別	491	166	657	29	59.1	462	462	100.0	248	50.5
北見幌別	110	90	200	—	—	110	100	90.9	72	65.4
合計	601	256	857	29	4.8	572	562	98.2	320	53.2
武佐	44	16	60	—	—	44	44	100.0	39	88.6
当幌	158	143	301	—	—	158	158	100.0	139	88.0
春別	49	30	79	—	—	49	49	100.0	39	79.6
床丹	71	36	107	—	—	71	71	100.0	66	93.0
風連	83	24	107	—	—	83	83	100.0	78	93.9
別当賀	80	53	133	4	5.0	80	76	95.0	76	95.6
合計	485	302	787	4	8.3	485	481	99.2	437	90.1
総合計	1,799	1,069	2,868	47	2.61	1,766	1,737	98.4	1,352	75.2

蓄養内訳										その他			
蓄養数			♀				逃逸数			その他			
♀	♂	計	死亡	率	催熟	率	♀	♂	計	老魚	調査	未熟	成熟不能
222	112	334	0	0	222	100.0							
99	33	132	17	17.2	78	78.7				2	2		
324	43	367	89	27.5	232	72.5				1	2		
49	21	70	0	0	49	100.0							
694	209	903	106	15.3	581	84.7				1	4		
462	125	587	243	52.6	219	47.4							
100	28	128	28	28.0	72	72.0							
562	153	715	271	48.2	291	51.7							
44	16	60	5	11.4	39	88.6							
158	107	265	19	12.0	139	88.0							
49	30	79	6	12.2	39	78.0				4			
71	31	102	5	7.0	66	93.0							
83	24	107	5	6.4	78	93.9							
76	32	108	4	5.3	72	90.0							
481	240	721	44	9.15	433	90.0				4			
1,737	434	2,339	421	24.2	1,305	75.1				5	4		

～ この表の説明 ～

雌使用率の70%以下の個所は徳志別、北見幌別の2個所のみであつたが、特に徳志別は

243尾の斃死を生じているがこれは鉋毒によるものと思われる。

(3) 樺太鯿の蓄養概況

本年は常呂外29個所において蓄養を実施したが、雌親魚捕獲数22,090尾に対し19,524

尾(要蓄養数92.4%)を蓄養し15,926尾(蓄養数の81.4%)が使用された。

樺太鯿親魚蓄養成績表

採卵場	捕獲数			即日 使用♀	即日 使用率	♀			♀ 総使用数	♀ 使用率
	♀	♂	計			要蓄 養数	蓄養数	率		
常呂	257	245	502	12	467	245	224	91.4	66	257
ルシヤ	72	66	138	0	0	68	68	100.0	0	0
岩尾別	952	1,009	1,961	22	231	930	930	100.0	952	100.0
斜里	412	369	808	6	146	406	407	100.0	334	81.0
藻琴	11	11	22	0	0	11	11	100.0	6	54.5
網走	41	49	90	4	9.80	37	37	90.2	49	100.0
湧別	350	541	891	0	0	350	298	95.8	254	81.7
渚滑	487	713	1,200	0	0	487	482	98.9	466	95.7
幌内	863	1,008	1,871	3	0.34	860	696	80.9	658	76.2
興部	25	34	59	0	0	25	23	92.0	23	92.0
雄武	173	193	366	0	0	173	131	75.7	119	68.8
合計	3,643	4,265	7,908	47	13	3,592	3,306	91.9	2,919	80.1
音標	123	245	368	—	—	123	88	77.5	76	61.8
風烈布	149	261	410	—	—	149	120	80.5	108	72.5
徳志別	491	1,173	1,664	3	0.61	488	479	98.1	265	54.0
北見幌別	373	527	900	0	0	373	320	85.8	262	70.2
屯別	22	17	39	0	0	9	9	40.9	7	31.8
佐久	1	4	5	—	—	1	1	100.0	0	0
合計	1,159	2,227	3,386	3	0.002	1,143	1,017	89.0	718	61.9

蓄養内訳										その他			
蓄養数			♀				逃逸数			老魚調査未熟成熟不能			
♀	♂	計	斃死	率	催熟	率	♀	♂	計				
224	42	266	170	75.8	54	24.1					5		
68	58	126	68	0	0	0							
930	316	1,246	0	0	930	100.0							
406	97	503	42	10.3	328	80.7					36		
11	11	22	5	45.5	6	54.5							
37	12	49	0	0	37	100.0							
298	128	426	44	14.8	254	85.2					39		
482	107	589	16	3.3	466	96.7							
696	327	1,023	38	5.46	655	94.1				25			20.5
23	34	57	0	0	23	100.0							
131	62	193	12	9.2	119	94.1							4.2
3,306	1,194	4,500	395	10.1	2,872	86.9				25	44	36	24.7
88	16	104	12	13.6	76	36.3	—	—	—	—	—	—	♀35取揚
120	25	145	12	10.0	108	90.0	—	—	—	—	—	—	♀29取揚
479	51	530	181	37.7	262	45.7	36	0	36	—	—	—	♀9取揚
320	77	397	58	18.0	262	82.0	—	—	—	—	—	—	
9	3	12	0	0	7	77.7	0	0	0	2	0	0	0
1	1	2	1	100.0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
1,017	173	1,190	264	25.9	715	74.0	36	—	36	2	—	—	—

項 目 採卵場	捕 獲 数			即 日 使用♀	即 日 使用率	♀			♀ 総使 用 数	♀ 使用率
	♀	♂	計			要 畜 養 数	畜 養 数	率		
サシルイ	28	28	56	—	0	28	28	857	24	857
羅 白	29	32	61	—	0	29	25	793	23	793
春刈古丹	76	74	150	—	0	76	76	961	73	961
植 別	17	19	36	—	0	17	17	765	13	765
忠 類	64	92	156	—	0	64	64	563	36	563
標 津	1,064	3,103	4,167	—	0	1,064	973	848	902	848
武 佐	979	1,230	2,209	3	0.3	976	976	984	963	984
当 幌	180	278	458	8	22	172	172	978	176	977
春 別	38	41	79	—	0	38	38	789	30	789
床 丹	122	129	251	—	0	122	122	1000	119	975
十 四 線	13,334	14,113	27,447	814	0.1	12,520	11,387	610	9766	732
風 連	1,291	1,731	3,022	—	0	1,291	1,291	1000	976	75.6
別 当 賀	66	52	118	3	48	62	62	1000	66	1000
合 計	17,288	20,922	38,210	878	47.9	16,459	15,231	15,979	13,167	762
総 合 計	22,090	27,414	49,504	878	37.5	21,194	19,524	924	16,804	764

～ この表の説明 ～

本年度の雌使用率60%以下の個所は常呂、藻琴、徳志別、屯別、忠類の5個所であり、催

畜 養 内 訳										そ の 他			
畜 養 数			♀				逃 逸 数			老 魚	調 査	未 熟	成 熟 不 能
♀	♂	計	斃 死	率	催 熟	率	♀	♂	計				
28	10	38	4	14.3	24	857							
25	3	28	1	4.0	23	920						1	
76	50	126	3	3.9	73	961							
17	15	32	4	3.1	13	765							
64	30	94	28	43.8	36	563							
973	319	1,292	71	7.3	902	927							
976	1,169	2,145	6	0.6	960	984				5	5		
172	89	261	4	1.33	168	977							
38	19	57	4	10.5	30	989				4			
122	63	185	3	2.4	119	975							
11,387	1,757	13,144	2,435	21.4	8,952	78.6						1	
1,291	487	1,778	315	24.4	976	75.6							
63	44	107	—	—	63	1000							
15,232	4,055	19,287	2,753	18.1	12,339	84.0				9	5	1	
19,555	5,422	24,977		17.4	15,926	81.4	36		36	36	54	36	

熟率60%以下の個所は常呂、藻琴、徳志別、忠別の4個所であつた。

9 鮭 鱒 種 卵 の 移 殖

(1) 移殖の概況

本年度の鮭は各支場共卵の収容設備を越えた個所がなく従つて管外移殖では下表のとおり北見支場（受給網走事業場）十勝支場間の種卵交換移殖と根室支場（供給虹別事業場）より知内事業場（知内川埋没）への移殖のみであつた、からふと鱒では日本海樺太鱒資源培養対策として新潟、山形両県への試験移殖を行つた。桜鱒は管外移殖はなし、ひめます種卵は支笏湖の大量採卵で余剰卵3,919,200粒を道内及本州へ移殖を計つた。

〔 さ け 〕

北 見 支 場 管 内

管 内 移 殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	収容前死卵率	備 考
3.7.10.9	渚 滑	湧 別	17,800	300	17,500	1.7	自動車輸送
17	〃	〃	120,000	2,500	117,500	2.1	〃
22	〃	〃	108,400	3,400	105,000	3.1	〃
29	〃	〃	649,500	37,000	612,500	5.7	〃
〃 11.5	〃	〃	376,100	18,600	357,500	4.9	〃
12	〃	〃	240,000	10,000	230,000	4.1	〃
19	〃	〃	186,000	6,000	180,000	3.2	〃
24	網 走	藻 琴	1,935,000	92,500	1,842,500	4.8	〃
26	〃	〃	1,360,000	70,000	1,290,000	5.1	〃
28	〃	〃	1,315,000	60,000	1,255,000	3.6	〃
30	湧 別	渚 滑	1,640,000	60,000	1,580,000	3.7	〃
12.3	〃	〃	2,190,000	70,000	2,120,000	3.2	〃
4	〃	〃	1,485,000	65,000	1,420,000	4.4	〃
6	網 走	岩 尾 別	555,300	20,600	534,700	3.7	〃
〃	〃	〃	54,300	1,500	52,800	2.8	海 産 卵
〃	西 網 走	〃	25,600	600	25,000	2.3	〃
		合 計	12,258,000	518,000	11,740,000	4.2	

(2) 管 外 移 殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	収容前死卵数	備 考
3.7.12.12	網 走	十勝支場	1,155,000	161,300	993,700	140	受精直後卵
〃 12.1.1	十勝支場	網 走	2,772,300	0	2,772,300	0	発 眼 卵
〃	鶴 居	〃	227,700	0	227,700	0	〃
3.8.12.2	網 走	十勝支場	1,665,000	0	1,665,000	0	〃
〃	西 網 走	〃	135,000	0	135,000	0	〃
管 外 計		管 外 計	5,955,000	161,300	5,793,700	0	

2 根 室 支 場 管 内

(1) 管 内 移 殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	収容前死卵数	備 考
3.7.10.16	忠 類	薫 別	9,000	200	8,800	2.2	受精直後卵
21	〃	〃	10,100	100	10,000	0.99	〃
25	〃	〃	9,800	300	9,500	3.06	〃
29	〃	〃	7,600	100	7,500	1.32	〃
11.2	〃	〃	9,200	200	9,000	2.17	〃
6	〃	〃	7,700	200	7,500	2.59	〃
10	〃	〃	9,400	400	9,000	4.26	〃
14	〃	〃	4,300	200	4,100	4.65	〃
19	〃	〃	8,000	500	7,500	6.25	〃
		計	75,100	2,200	72,900	2.93	〃
10.1	〃	根 室	8,500	1,000	7,500	11.76	〃
6	〃	〃	5,300	300	5,000	5.66	〃
12	〃	〃	10,300	300	10,000	2.91	〃
		計	24,100	1,600	22,500		
16	伊 茶 仁	薫 別	8,800	100	8,700	1.14	〃
21	〃	〃	11,700	200	11,500	1.71	〃
25	〃	〃	39,000	800	38,200	2.05	〃
29	〃	〃	28,100	1,100	27,000	3.91	〃

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	収容前死卵数	収容卵数	収容前死卵数	備考
2	伊茶仁	薫別	64,500	1,000	63,500	1.55	受精直後卵
6	〃	〃	82,400	2,400	80,000	2.91	〃
10	〃	〃	45,500	500	45,000	1.09	〃
14	〃	〃	34,600	600	34,000	1.73	〃
19	〃	〃	74,100	1,600	72,500	2.16	〃
24	〃	〃	47,100	2,100	45,000	4.46	〃
		計	435,800	10,400	425,400	2.39	〃
10.12	〃	根室	5,200	200	5,000	3.85	〃
〃	〃	〃	10,700	700	10,000	6.54	〃
		計	15,900	900	15,000	5.66	〃
11.2	標準第一	薫別	955,300	30,300	925,000	3.17	〃
6	〃	〃	1,872,000	72,000	1,800,000	3.85	〃
9	〃	〃	795,100	27,600	767,500	3.47	〃
17	〃	〃	685,000	16,000	669,000	2.34	〃
12.1	〃	〃	1,153,600	61,100	1,092,500	5.29	〃
		小計	5,461,000	207,000	5,254,000	3.79	〃
10.4	〃	計根別	1,292,100	71,100	1,221,000	5.50	〃
6	〃	〃	1,455,500	60,500	1,395,000	4.16	〃
9	〃	〃	1,339,000	61,000	1,278,000	4.56	〃
12	〃	〃	1,665,200	102,200	1,563,000	6.14	〃
14	〃	〃	1,389,000	64,000	1,325,000	4.61	〃
		小計	7,140,800	358,800	6,782,000	5.02	〃
9.17	〃	計根別	49,800	2,300	47,500	4.62	〃
21	〃	〃	175,900	18,400	157,500	10.46	〃
24	〃	〃	575,000	25,000	550,000	4.35	〃
27	〃	〃	273,600	11,100	362,500	4.06	〃
10.1	〃	〃	1,822,600	135,100	1,687,500	7.41	〃
4	〃	〃	15,900	900	15,000	5.66	〃
6	〃	〃	30,900	900	30,000	2.91	〃
11.13	〃	〃	997,600	22,600	975,000	2.27	〃
27	〃	〃	171,500	19,000	152,500	11.08	〃
		小計	4,112,800	235,300	3,877,500	5.72	〃

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	収容前死卵数	収容卵数	収容前死卵数	備考
37.10.4	標準第一	計根別	1,292,100	71,100	1,221,000	5.50	受精直後卵
6	〃	〃	1,455,500	60,500	1,395,000	4.16	〃
12	〃	〃	1,665,200	102,200	1,563,000	6.14	〃
14	〃	〃	1,389,000	64,000	1,325,000	4.61	〃
		小計	5,801,800	297,800	5,504,000	5.13	〃
16	〃	虹別	325,620	8,120	317,500	2.49	〃
19	〃	〃	1,624,900	64,900	1,560,000	3.99	〃
		小計	1,950,520	73,020	1,877,500	3.74	〃
9.18	武佐	薫別	6,700	200	6,500	2.98	〃
21	〃	〃	10,900	400	10,500	3.67	〃
10.16	〃	〃	185,500	3,000	182,500	1.62	〃
21	〃	〃	195,500	5,500	190,000	2.81	〃
25	〃	〃	208,100	5,600	202,500	2.69	〃
29	〃	〃	229,700	4,700	225,000	2.05	〃
11.2	〃	〃	208,800	3,800	205,000	1.82	〃
6	〃	〃	282,500	19,000	263,500	6.73	〃
10	〃	〃	93,800	2,200	91,600	2.85	〃
14	〃	〃	217,100	7,100	210,000	3.27	〃
19	〃	〃	156,100	3,600	152,500	2.31	〃
24	〃	〃	89,100	6,600	82,500	7.41	〃
12.6	〃	〃	430,000	16,000	414,000	3.72	〃
10	〃	〃	518,400	18,400	500,000	3.55	〃
		小計	2,832,200	96,100	2,736,100	3.31	〃
9.26	武佐	根室	75,300	5,300	70,000	7.04	〃
10.1	〃	〃	76,400	3,900	72,500	5.01	〃
6	〃	〃	123,000	500	122,500	4.07	〃
12	〃	〃	185,400	10,400	175,000	5.61	〃
12.2	〃	〃	389,200	44,200	345,000	11.36	〃
		小計	849,300	64,300	785,000	7.57	〃
12.19	武佐	伊茶仁	288,600	11,100	277,500	3.85	〃
24	〃	〃	12,900	400	12,500	3.10	〃
		小計	301,500	11,500	290,000	3.81	〃

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	收容前死卵数	收容卵数	收容前死卵率	備考
11.24	当幌	根室	279,000	51,500	227,500	18.46	受精直後卵
12.7	"	"	254,700	32,200	222,500	12.64	"
		小計	533,700	83,700	450,000	15.68	
11.24	春別	根室	31,000	6,000	25,000	19.35	"
11.24	床丹	根室	79,600	7,100	72,500	9.23	"
12.12	十四線	羅臼	224,900	19,400	205,500	8.63	"
11.20	十四線	薫別	215,190	15,940	199,250	7.41	"
2.4	"	"	714,300	55,300	659,000	7.74	"
12.1	"	"	547,250	49,750	497,500	9.09	"
12	"	"	438,920	58,170	380,750	13.25	"
17	"	"	217,300	28,800	188,500	13.25	"
		小計	14,900,900	1,581,900	13,319,000	10.62	
12.13	十四線	伊茶仁	1,341,300	118,800	1,222,500	8.86	"
15	"	"	2,422,600	257,600	2,165,000	10.63	"
21	"	"	2,331,900	311,900	2,020,000	13.38	"
27	"	"	2,001,000	276,000	1,725,000	13.79	"
		小計	8,096,800	964,300	7,132,500	11.91	
10.3	十四線	根室	18,300	800	17,500	4.37	"
5	"	"	23,200	700	22,500	3.02	"
11.9	"	"	67,300	2,300	65,000	3.42	"
12.3	"	"	1,228,400	63,400	1,165,000	5.16	"
1.3	"	"	1,742,400	504,900	1,237,500	28.97	"
8	"	"	1,286,700	351,700	935,000	27.33	"
14	"	"	338,600	138,600	200,000	40.93	"
		小計	4,704,900	1,062,400	3,642,500	22.74	
12.3	十四線	中標津	1,343,000	98,000	1,245,000	7.29	"
5	"	"	2,667,500	242,500	2,425,000	9.09	"
		小計	4,010,500	340,500	3,670,000	8.49	
1.3	十四線	計根別	1,580,000	320,000	1,060,000	23.19	"
10.29	別当賀	根室	464,800	4,800	460,000	1.03	"
12.20	根室	伊茶仁	862,500	0	862,500		"
		管内計	66,314,520	5,923,620	60,390,900		

(2) 管内移殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	收容前死卵数	收容卵数	死卵率	備考
12.4	虹別別	知内	1,000,000	0	1,000,000		発眼卵
	管外計	管外計	1,000,000	0	1,000,000		

3 十勝支場管内

(1) 管内移殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	收容前死卵数	收容卵数	死卵率	備考
3.7.10.12	仮監	釧路	1,698,000	131,000	1,567,000	7.71	受精直後卵
2.2	"	"	1,779,000	111,000	1,668,000	6.24	"
11.1	"	"	936,000	50,000	886,000	5.34	"
		小計	4,413,000	292,000	4,121,000	6.62	"
10.27	雪裡	十勝	3,450,000	253,600	3,196,400	7.33	"
11.1	"	"	2,493,400	286,600	2,206,800	11.48	"
6	"	"	3,685,000	54,900	3,630,100	1.49	"
		小計	9,628,400	595,100	9,033,300	6.18	"
11.24	雪裡	釧路	819,000	54,500	764,500	6.65	"
12.4	"	"	1,389,000	115,000	1,274,000	8.82	"
		小計	2,208,000	169,500	2,038,500	7.68	"
12.11	十勝支場	大樹	1,000,000	—	1,000,000		発眼卵
		管内計	17,249,400	1,056,600	16,192,800	6.13	

(2) 管外移殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	收容前死卵数	收容卵数	死卵率	備考
3.7.12.11	十勝	網走	3,150,800	150,800	3,000,000	4.79	発眼卵
3.7.12.13	網走	十勝	1,155,000	161,300	993,700	13.97	受精直後卵
3.8.12.21	"	"	2,082,500	282,500	1,800,000	13.57	発眼卵
		小計	3,237,500	443,800	2,793,700	13.71	
		管外計	6,388,300	594,600	5,793,700		

4 天 塩 支 場 管 内

(1) 管 内 移 殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備 考
3.7.11	1	頓 別 歌 登	562,500	3,400	559,100	0.60	受精直後卵
"	6	"	717,500	14,400	703,100	2.01	"
"	10	"	470,000	10,000	460,000	2.13	"
"	16	"	275,000	5,060	269,940	1.84	"
12. 6	"	"	812,000	21,800	790,200	2.69	発 眼 卵
		管内計	2,837,000	54,660	2,782,340	1.93	

5 千 歳 支 場 管 内

(1) 管 内 移 殖 (受精直後卵を下表受給地に収容し、ふ出後備考記入の通り放流す)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備 考
10.30	石 狩	千 歳	101,500	600	100,900	0.59	
11. 2			81,000	1,400	79,600	1.73	千歳川へ
8			17,000	900	16,100	5.29	自然放流
		小 計	199,500	2,900	196,600	1.45	
10.15	勇 払	千 歳	100,000	800	99,200	0.80	
19			112,500	2,700	109,800	2.40	
22			137,500	1,400	136,100	1.02	
24			258,000	4,300	253,800	1.63	12月21
27			221,300	3,800	217,500	1.72	～28日
30			334,800	7,500	327,300	2.24	勇払川へ再
11. 1			217,500	1,700	215,800	0.78	移殖一部標
5			335,000	4,000	331,000	1.19	識
7			160,000	4,500	155,500	2.81	内381,300
10			120,000	2,200	117,800	1.83	千歳川へ
17			162,500	1,300	161,200	0.80	自然放流
		小 計	2,159,100	34,100	2,125,000	1.56	

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備 考
10.22	幌 別	静 内	17,700	200	17,500	1.13	
31	"	"	24,000	300	23,700	1.25	
11. 6	"	"	34,000	200	33,800	0.59	
16	"	"	94,500	1,300	93,200	1.38	還元放流
20	"	"	64,600	1,000	63,600	1.55	
24	"	"	102,000	1,500	100,500	1.47	350,000
30	"	"	97,500	1,200	96,300	1.23	
12. 9	"	"	52,000	1,500	50,500	2.88	
20	"	"	63,000	2,000	61,000	3.17	
		小 計	549,300	8,200	540,100	1.67	
10.27	三 石	静 内	8,100	100	8,000	1.23	
31	"	"	6,100	100	6,000	1.64	
3	"	"	7,700	200	7,500	2.60	
13	"	"	10,200	200	10,000	1.96	
17	"	"	23,000	500	22,500	2.17	還元放流
20	"	"	22,800	300	22,500	1.32	
24	"	"	61,200	1,200	60,000	1.96	200,000
27	"	"	68,300	1,300	67,000	1.90	
12.1	"	"	15,200	200	15,000	1.32	
7	"	"	13,150	150	13,000	1.14	
		小 計	235,750	4,250	231,500	1.80	
10.24	新 冠	静 内	53,300	800	52,500	1.50	
30	"	"	45,500	500	45,000	1.10	
11. 6	"	"	61,200	1,200	60,000	1.96	還元放流
11.12	"	"	67,000	2,000	65,000	2.99	
18	"	"	118,500	3,500	115,000	2.95	300,000
26	"	"	68,000	3,000	65,000	4.41	
		小 計	413,500	11,000	402,500	2.66	
10. 6	敷 生	白 老	30,600	600	30,000	1.96	
7	"	"	10,100	100	10,000	0.99	
10	"	"	20,500	500	20,000	2.44	
12	"	"	18,500	1,000	17,500	5.41	
14	"	"	42,000	2,000	40,000	4.76	

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備考
15	敷生	白老	15,500	500	15,000	3.23	還元放流 210,000
18	"	"	23,500	1,000	22,500	4.26	
21	"	"	32,000	2,000	30,000	6.25	
23	"	"	18,500	800	17,500	4.37	
25	"	"	13,000	500	12,500	3.85	
26	"	"	13,000	500	12,500	3.85	
27	"	"	18,500	1,000	17,500	5.41	
28	"	"	20,400	400	20,000	1.96	
30	"	"	55,500	3,000	52,500	5.41	
11. 1	"	"	26,000	1,000	25,000	3.85	
2	"	"	38,000	3,000	35,000	7.89	
3	"	"	10,200	200	10,000	1.96	
10	"	"	13,500	1,800	12,500	7.41	
14	"	"	31,800	1,500	30,000	5.66	
15	"	"	26,500	1,500	25,000	5.66	
17	"	"	34,100	1,600	32,500	4.69	
19	"	"	15,700	700	15,000	4.46	
11.22	"	"	52,000	2,000	50,000	3.85	
25	"	"	21,000	1,000	20,000	4.76	
28	"	"	42,000	2,000	40,000	4.76	
12. 1	"	"	39,500	2,000	37,500	5.06	
2	"	"	21,000	1,000	20,000	4.76	
4	"	"	27,500	2,500	25,000	9.09	
6	"	"	10,500	500	10,000	4.76	
15	"	"	15,500	500	15,000	3.23	
		小計	756,200	36,200	720,000	4.80	
		管内計	4,313,350	97,650	4,215,700	2.27	

6 渡島支場管内

(1) 管内移植
なし

(2) 管外移植

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備考
3.7.12.7	14線	知内	1,000,000		1,000,000		発眼卵 知内川埋蔵分
		管内計	1,000,000		1,000,000		

か ら ふ と ま す

1 北見支場管内

(1) 管内移植

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備考
3.7. 9.25	渚滑	湧別	51,400	1,400	50,000	2.7%	
10. 3	"	"	458,000	8,000	450,000	1.7	
7	興部	"	15,300	300	15,000	2.0	
9	渚滑	"	196,600	1,600	195,000	0.8	
17	"	"	21,000	1,000	20,000	4.8	
		管内計	742,300	12,300	730,000	1.7	

(2) 管内移植

なし

2 根室支場管内

(1) 管内移殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備考
37.12.20	根室	伊茶仁	202,500	0	202,500		発眼卵
		管内計	202,500	0	202,500		

(2) 管外移殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容死卵数	収容卵数	死卵率	備考
37.11.30	根室	新潟県	500,000	830	417,000		発眼卵
// // 29		山形県	500,000				"
		管外計	1,000,000	830			

さ く ら ま す

3 北見支場管内

(1) 管内移殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備考
37.9.19	滑	湧別	218,000	1,500	216,500	0.7%	自動車輸送
9.25	"	"	93,500	1,000	92,500	1.0	"
10.3	"	"	45,900	900	45,000	2.0	"
		管内計	3,574,000	3,400	3,540,000	1.0	

(2) 管外移殖

な し

4 根室支場管内

(1) 管内移殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵数	備考
37.9.14	武佐	薫別	23,200	700	22,500	3.02	
18	"	"	3,100	100	3,000	3.23	
		管内計	26,300	800	25,500	3.04	

(2) 管外移殖

な し

ひ め ま す

5 千歳支場管内

(1) 管内移殖

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵数	備考
37.11.9	支笏湖	千歳	1,061,500	11,600	1,049,900	1.09	受精直後卵
10	"	"	524,200	4,300	519,900	0.82	"
13	"	"	945,600	3,900	941,700	0.41	"
19	"	"	952,900	13,000	939,900	1.36	"
22	"	"	274,900	2,300	272,600	0.84	"
27	"	"	349,100	1,100	348,000	0.32	"
12. 1	"	"	146,300	2,500	143,800	1.71	"
		管内計	4,254,500	38,700	4,215,800	0.91	

(2) 管 外 移 殖

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備 考
3.7.10.24	千歳支場	北大水産学部	4,400				受精卵再移植
10.26	"	道立水産ふ化場	100,000				受精卵再移植
12.12	支笏湖	北大洞爺湖 実 験 場	514,800				受精直後卵
1. 5	千歳支場	道水産ふ化場	500,000				発眼卵再移植
7	"	福島県内 水面水試	200,000				"
8	"	水産庁 日光養魚場	700,000				"
11	"	虎杖浜漁協	100,000				"
22	"	福島県沼 沢沼漁協	300,000				"
30	"	栃木県水試	500,000				"
2. 1	"	山梨県本 栖湖漁協	100,000				"
	"	道水産ふ化場	900,000				"
	"	管 内 計	3,919,200				

ま す の す け

1 十 勝 支 場 管 内

(1) 管 内 移 殖

な し

(2) 管 外 移 殖

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	収容前死卵数	収容卵数	死卵率	備 考
3.7.11.7	米 国 ワシントン州	札 内	100,000		100,000		空輸給卵放流 96,900尾
管 内 計			100,000		100,000		

10 姫 鱒 増 殖 事 業

本年度における支笏湖のひめます増殖事業は計画数を遙に突破する予期以上の好成績をあげ捕獲数においては過去5ヶ年の最高である。昭和33年度の約1.8倍余採卵数においても33年度に比敵する成績であつたが、1尾平均採卵数は33年度の439粒に比べ358粒を示し、使用数は33年度の16,539尾より3,209尾多い19,748尾を採卵に使用している。このことは魚体が対比年度に比べて小型であつたためである。

支笏湖姫鱒最近5ヶ年の成績表

年 次	捕 獲 数			使 用 親 魚 数			採 卵 数	平均採卵数
	♀	♂	計	♀	♂	計		
32	1,556	1,249	2,805	1,429	444	1,873	700,900	490
33	16,889	4,027	20,914	16,537	2,321	18,858	7,270,800	439
34	8,939	4,033	12,972	8,825	2,687	11,512	4,305,600	487
35	7,207	2,126	9,333	6,865	1,397	8,262	3,697,200	538
36	829	156	985	827	146	973	394,200	476
5ヶ年平均	7,084	2,318	9,401	6,897	1,399	8,295	3,273,740	486

	捕 獲	♀ 使 用	採 容	収 容	放 流
本 年 度	37,543尾	19,748尾	7,221,600粒	7,078,500粒	2,104,500尾
計画達成率	40.11%	31.14%	19.475%	%	%

註 管内外移植卵数 3,919,200粒

(1) 捕 獲 ・ 採 卵

本年の捕獲期間は10月1日から11月19日までであつたが、捕獲数37,543尾で近年稀にみる好漁を示し、順調に蓄養採卵した。採卵数は7,221,600粒であつたが事業場収容備の関係から4,254,500粒は千歳支場へ運搬し、4,215,800粒を収容した。

捕獲採卵成績表

年次	捕獲数			使用数			♀親魚 使用率
	♀	♂	計	♀	♂	計	
本年	20,064	17,479	37,543	19,748	5,127	24,875	98.4
前年	829	156	985	827	146	973	99.8
増	19,235	17,323	36,558	18,921	4,981	23,902	
比較減	—	—	—	—	—	—	1.4

(2) 孵化放流

事業場には2,347,900粒を収容したが、そのふ化放流成績は下表の通りである。また、支場に収容した4,215,800粒については発眼後3,404,400粒を道立水産ふ化場外9ヶ所に移植及び分与（譲）した。

孵化放流成績表

	収容卵数	死卵数	孵出数
本年度	2,347,900	243,400	2,104,500
前年度	771,200	26,900	744,300
比較増減	(+) 1,576,700	(+) 216,500	(+) 1,360,200

II 鮭 鱒 稚 魚 飼 育 事 業

従来、稚魚の放流は特殊の条件下にある一部を除き、大部分の個所は放流期に達した稚魚を養魚池から順次自然に降下させてきたが、近年各地に孵化室の増設が行われ放流量が急増している反面、河川のもつ包容力は沿川の開発に伴って減退する傾向にある。元来河内にある天然餌量は年により多少の増減変動はあるにしても自からその発生量には限度があり、放流量が河川内餌料に見合う数量以上の場合は当然餌料の不足を来すこととなる。あまつさえ河川の抱擁力が衰退傾向にある今日では現在の放流量に対する天然餌料が充分あるかどうか疑問を生ずる。

従つて、37年度より放流量を増加する事業場に於ては、放流以前に充分な給餌を行つて稚魚の成長を促進し、健全な稚魚を放流することにより河川内の減耗抑制を計り、河口通過時に於ける生存数を少しでも多くすることが重要な課題となつたので、この目的を達成するために稚魚の飼育を実施することになった。

採卵数	収容前 採卵数	収容卵数	平均採卵数	期 間
7,221,600	38,700	7,078,500	358	10/1 ~ 11/19
394,200	0	394,200	476	10/11 ~ 11/20
6,827,400	38,700	6,684,300		
—	—	—	118	

孵出率	放流数	放流期間	備 考
90.4	2,080,000	4.5 ~ 4.22	前年度ふ化率は移植卵を含む
96.5	740,800	4.11 ~ 4.16	
(-) 6.5	(+) 1,339,200		

本年度は主として根室支場伊茶仁事業場と十勝支場札内事業場で実施した。伊茶仁事業場は従来840万粒の収容施設であつたが、37年度に2,300万粒の拡充を行い、現在は3,140万の収容能力となつた。又札内事業場は従来1,380万であつたものが36年度に3,000万を増設し、現在4,380万の収容能力となつている。本年度は当初伊茶仁事業場だけで実施する計画であつたがまた伊茶仁の増設工事が遅延したこととふ化施設が当初計画の3620万粒より大巾に縮減されたこと及び附帯の揚水設備の変更等の事由から計画を一部変更して札内でも実施することとした。

しかし、飼育事業は本年度が最初であるため、まだ事業的規模での飼育管理要領を得るに至つていなかった。予備事業として37年度初頭に根室及び千歳支場で約300万尾の稚魚に給餌を行いあらゆる面の事業要領検討し、その結果に基づいて合理的な飼育事業を実施した。

1 飼育尾数及放流数

37年度の飼育計画は30,750,000尾とし、このうちサケが25,000,000尾、カラフトマスは5,750,000尾であつたが、漁況からみてカラフトマスの折上が悪く種卵の確保が出来なかつたため、一部をサケに振替えて以下の様に変更し、結果的には計画尾数に対し実施は98.1%となつた。

37年度計画尾数と実施尾数

実施場名	魚種	実施期間	計画数	実施尾数	放流数	備考
根室支場	鮭	6/5 ~ 6/25	1,000,000	1,000,000	683,500	予備事業 37年5.6月
千歳支場	"	5/17 ~ 6/18	2,000,000	2,000,000	905,320	"
伊茶仁事業場	鮭 樺太鱈	3/20 ~ 6/21 3/20 ~ 4/20	8,000,000 400,000	7,648,000 170,000	7531,900 168,200	38年3月 実施
札内事業場	鮭	3/1 ~ 4/30	19,350,000	19,350,000	19,272,500	"
計			30,750,000	30,168,000	28,561,420	

2 給餌期間

稚魚の給餌期間は採卵の時期及孵化水温によつて浮上期が異なるので以下の様に区分して行つた。

各場の飼育期間（除予備事業）

場名	区分	期間	日数	魚種	尾数	備考
伊茶仁	第1次	3月20日~4月20日	30	からふとす	170,000	
	"	同上	30	さけ	780,000	
	第2次	5月1日~5月22日	22	さけ	906,000	
	第3次	6月1日~6月21日	21	さけ	5,962,000	
計	3回	3月20日~6月21日	82	まさすけ	7,818,000	
札内	第1次	5月1日~3月31日	31	さけ	7,120,000	
	第2次	4月1日~4月30日	30	さけ	12,230,000	
計	2回	3月1日~4月30日	61	さけ	19,350,000	

3 給餌量

37飼育用餌量（除予備事業）

餌料区分	伊茶仁	札内	計
たら子	1,000kg	3,000kg	4,000
配合餌	3,500kg	7,000kg	10,500
計	4,500kg	10,000kg	14,500

配合餌の混合率

配合品名	混合率	備考
鮮魚肉	35.0%	助宗タラ5厘挽搦身
粉末肝臓	10.0%	理研ビタミンE
脱脂粉乳	5.0%	
酵母	5.0%	ビール酵母
α-澱粉	5.0%	
ミネラル	0.2%	武田製薬ミネフイードC
水	39.8%	

餌料の配合については餌の栄養分を重点的に検討して、天然に於ける各種餌料生物の成分組成を配合の参考とした。餌の形状は捕食、餌の拡散、貯蔵、給餌作業面、給餌量等を考慮し一定の大きさ（縦横高、約20cm×35cm×7cm、重量4kg）にした。

当场使用の餌料の栄養成分（%）

分析項目	配合餌	たら子	備考
粗蛋白	15.00	10.36	
粗脂肪	10.5	1.42	
粗灰分	1.38	0.61	
粗繊維	0.051	0.024	
可溶性無窒素物	6.78	1.19	
水分	75.75	86.40	
カロリー	99.0 Cal	60.6 Cal	100g中

（以上食品油糧検査協会の分析による）

4 成長及歩留

給餌による成長と歩留

場 所		伊 茶 仁 事 業 所					札 内 事 業 所			備 考
区 分		第 1 次	第 2 次	第 3 次	合計及平均		第 1 次	第 2 次	合計及平均	
魚 種		樺太鱈	鮭	鮭	鮭		鮭	鮭		
期 間		3/20~4/20	3/20~4/20	5/1~5/22	6/1~6/21	3/20~6/21	3/1~3/31	4/1~4/30	3/1~4/30	
給 尾 数(尾)		170,000	780,000	906,000	596,200	7818,000	7,120,000	12,230,000	19,350,000	
平均個体重(g)		0.251	0.325	0.30	0.34	マス0.25 サケ0.32	0.394	0.390	0.392	
給 飼 前 総飼育重量(kg)		42	253	272	2027	2594	2805	4819	7624	
総 給 餌 量 (kg)		71	489	384	3556	3500	3,680	6320	10,000	
飼 育 日 数		31	31	22	21	74	31	30	61	
斃 死 尾 数		1,800	10,900	4,500	100,700	117,900	28,500	49,000	77,500	
給 生 残 尾 数		168,200	769,100	901,500	586,130	7700,100	7,091,500	12,181,000	19,272,500	
平均個体重(g)		0.34	0.61	0.68	0.68	マス0.34 サケ0.66	0.81	0.84	0.825	
給 飼 後 総重量		57	469	613	3,985	5,124	5,744	10,232	15,976	
増 重 量 (kg)		15	216	341	1,958	2,530	2,939	5,413	8,352	
増 重 倍 率		0.36	0.87	1.27	1.00	マス0.36 サケ1.05	1.05	1.15	1.10	
飼 料 係 数		4.73	2.26	1.12	1.81	1.38	1.25	1.17	1.20	
歩 留 (%)		98.9	98.6	99.5	98.3	98.6	99.5	99.5	99.5	
飼 育 水 温	最 高	11.0	11.0	9.0	13.0		9.8	12.2		
	最 低	2.2	2.2	7.0	7.0		4.3	7.2		
	平 均	7.1	7.1	8.0	9.1		6.7	10.1		

従来の放流魚体と給餌放流魚体

放流場所	魚 種	従 来 の 放 流 魚 体					給 餌 放 流 魚 体					1Kg当り 尾 数
		体 長 cm		体 重 (g)		1kg当り 尾 数	体 長 cm		体 重 (g)			
		最大~最少	平均	最大~最少	平均		最大~最少	平均	最大~最少	平均		
伊 茶 仁	鮭	43 ~ 34	37	0.35~0.30	0.325	3076	5.2~4.0	4.6	1.2 ~0.52	0.68	1,470	
	樺太鱈	34 ~ 36	32	0.23~0.26	0.251	4000	3.8~3.0	3.5	0.51~0.30	0.34	2940	
札 内	鮭	41 ~ 36	39	0.42~0.30	0.394	2538	5.6~4.4	4.9	1.4 ~0.55	0.86	1,162	

※ 体長はフォークレングス

12 調 査 試 験

調 査 試 験

昭和37年度は前年迄に得られた知見を基とし、産卵親魚の沂上、発生稚魚の降海並びに再生産環境の究明に重点をおき、次の各項に亘る調査研究を進めた。

これらの結果概要は、尚検討中或は整理未済のものを含み、今後順次取纏めて報告の予定である。

(1) 沂上親魚生理生態調査

再生産機構を検討するために重要な要素となる総沂上量の推定、河川内の親魚の生態などを明らかにするために十勝川及び網走川で親魚の標識放流試験を行つた。その概略は次の通りである。

1. 十 勝 川

標識魚は9月28日~10月20日の間に4回計499尾を放流した。

放流は打内第1捕獲場の捕獲魚を使用し、M.S 222によつて麻酔し標識を附した後生簀中より自然に沂上せしめた。使用した標識票はスパゲツテイ、タグである。再捕は河川内の各捕獲場、沿岸定置で行つた。再捕の結果は第1表、第2表の通りである。

第1表 放流数及び再捕獲数(率)

放流月日	放 流 尾 数			再 捕 尾 数			再 捕 率 (%)		
	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計
9月28日	115	84	199	44	42	86	38.3	50.5	43.2
10月5日	88	62	150	38	22	60	43.2	35.4	40.0
10月12日	42	58	100	15	19	34	35.7	32.8	34.0
10月20日	37	13	50	6	2	8	16.2	15.4	16.0
計	282	217	499	103	85	188	36.5	39.2	37.7

第2表 再捕場所別、再捕尾数、経過日数

放 流 月 日		沿 岸 定 置			打 内 蓄 養 池			打 内 第 1			打 内 第 2		
		♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計
9月28日	再捕尾数	5	4	9		1	1	6	6	12	16	9	25
	経過日数	日 日 2~8	2~8	2~8		23	23	1~2	1	1~2	1~4	1~6	1~6
10月 5日	再捕尾数							1	3	4	18	12	30
	経過日数							0	1	0~1	0~3	0~8	0~8
10月12日	再捕尾数										5	6	11
	経過日数										1~3	1~4	1~4
10月20日	再捕尾数										1	1	2
	経過日数										1	0	0~1
計	再捕尾数	5	4	9	0	1	1	7	9	16	40	28	68
	経過日数	2~8	2~8	2~8		23	23	0~2	1	0~2	0~4	0~8	0~8

打 内 第 3			東 3 3 号			利 別			幕 別			千 代 田		
♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計
4	6	10	9	8	17				1	0	1	3	8	11
0~1	0~1	0~1	1~18	2~6	1~18				3		3	15~25	14~40	15~40
			3	4	7	3	2	5				10	1	11
0~2		0~2	3~7	2~3	2~7	2~10	2~6	2~10				2~18	16	2~18
			4	3	7		1	1				6	9	15
			3~15	3~5	3~15		5	5				4~22	3~20	3~22
			2	1	3							3		3
			2~3	1	1~3							5~10		5~10
7	6	13	18	16	34	3	3	6	1	0	1	22	18	40
0~2	0~1	0~2	1~18	1~6	1~18	2~10	2~6	2~10	3		3	2~25	3~40	2~40

2. 網 走 川

11月5日, 11月7日, 11月28日の3回計73尾を放流した。

網走捕獲場の捕獲魚を使用しウレタンによつて麻酔し、スパゲツティ。タグを附して放流した。

再捕は、湖内ワカサギ、地曳網に混獲されるものからの発見を業者に依頼した。

再捕の結果は第3表~第5表の通りである。

第3表 放流数及び再捕数(率)

放 流 月 日	放 流 尾 数			再 捕 尾 数			再 捕 率 (%)		
	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計
11月 5日	9	11	20	3	2	5	33.3	18.2	25.0
11月 7日	12	12	24	3	5	8	25.0	41.7	33.0
11月28日	11	19	30	2	3	5	18.2	15.8	16.7
計	32	42	74	8	10	18	25.0	23.8	24.3

第4表 再捕場所

場 所	尾 数
ヨシノ崎	1
別 荘 前	3
実験所前	13
休憩所前	1

第5表 成熟度別再捕結果

区 分	放流尾数	再捕尾数	再捕率	経過日数	
				最小	最大
銀 毛	11	2	18.2 %	3	11
中ブナ毛	24	7	29.2	1	29
ブナ毛	16	4	25.0	5	21
計	51	13	25.5 %	1	29

3. 北海道の河川に遡上する鮭総数の推定

北西太平洋日ソ漁業委員会提出資料の一部として北海道の河川に遡上する鮭の総遡上数の推定を1958~1961年(昭和33~36年)の各年次毎に行つた。その結果は第1表の通りである。推定方法は各河川毎に検討した。即ちその河川の状況によつて(A) (B) (C) の3区分に分類し、各区毎の推定方法(第1表の脚註)によつて算出した。

1962年(昭和37年度)については、鮭、さくらます、からふとますについて、総遡上数の推定を行つた。その結果は第2表の通りである。推定方法は第2表脚註の方法によつた。

第 1 表

海 区	区 分	河 川 数	1958(昭33)
オ ホ ー ツ ク 海 区 (稚内―根室野付半島)	ふ化事業実施河川 (A)	4	(107,196) 173,658
	ふ化事業実施河川 (B)	17	(69,708) 103,469
	自然産卵河川 (C)	29	(175) 3,455
	計	50	(177,079) 280,582
日 本 海 区 (稚内―渡島半島追分川)	ふ化事業実施河川 (A)	2	(29,312) 72,030
	ふ化事業実施河川 (B)	3	(2051) 2,901
	自然産卵河川 (C)	37	(58) 9,628
	計	42	(31,421) 84,559
太 平 洋 海 区 (野付半島―渡島半島福真川)	ふ化事業実施河川 (A)	4	(221,159) 446,257
	ふ化事業実施河川 (B)	21	59,523 85,169
	自然産卵河川 (C)	41	(187) 8,261
	計	66	(280,869) 539,687
計	ふ化事業実施河川 (A)	10	(357,667) 691,945
	ふ化事業実施河川 (B)	41	(131,282) 199,539
	自然産卵河川 (C)	107	(420) 21,344
	計	158	(489,369) 904,828

1959(昭34)	1960(昭35)	1961(昭36)	備 考
(76,746) 120,166	(90,039) 125,068	(76,417) 121,539	(註) ()内数字はふ化事業捕獲数
(55,900) 87,308	(64,552) 104,596	(44,080) 66,648	
(169) 4,077	(3) 5,667		
(132,815) 211,551	(154,614) 235,531	(120,497) 191,226	
(8,926) 22,737	(6,605) 17,335	(11,583) 31,699	
(2,306) 3,240	(1,560) 2,586	(2,304) 3,191	
(151) 3,778			
(11,383) 29,755	(8,171) 22,438	(13,887) 39,294	
(172,606) 315,444	(121,351) 220,215	(254,484) 476,271	
(36,695) 51,198	(20,996) 28,422	(38,638) 52,461	
4,967	4,171	7,932	
(209,301) 371,609	(142,347) 252,608	(293,122) 629,509	
(258,278) 458,347	(218,015) 362,618	(342,484) 629,509	
(94,901) 141,746	(87,114) 135,604	(85,022) 122,300	
(320) 12,822	(3) 12,555		
(353,499) 612,915	(305,132) 510,777	(427,506) 767,184	

〔註〕

1. 区 分 内 容

- (A) ふ化事業実施河川：大河川又は湖沼をもち、ふ化事業捕獲数が多く、標識放流試験実施河川並びに之等と条件の類似している河川を含む。
- (B) ふ化事業実施河川：ふ化事業捕獲数が比較的少ない河川
- (C) 自然産卵河川：人工ふ化事業のための捕獲が行なわれない河川

2. 推 定 方 法

さけ沂上河川を上記により区分し、各区分共ふ化事業のための実際捕獲数を基礎として下記に

- (A) 標識放流試験並びに沂上調査結果を参考とした。
- (B) 捕獲方法、密漁状況、天然産卵状況を検討し、各河川毎に捕獲数に対する係数を決めて算出した。
- (C) 過去の沂上調査、近接河川捕獲数、海区平均捕獲数を参考として算出した。

第 2 表

区 分	し ろ ざ け	
	そ上親魚数（推定値）	ふ化放流のための捕獲親魚数
大 平 洋 側 沿 岸	4 4 1, 8 3 6	2 6 0, 1 3 2
オ ホ ー ツ ク 海 側 沿 岸	1 3 5, 5 8 3	8 8, 5 7 1
日 本 海 岸 沿 岸	5 6, 3 4 0	2 2, 2 8 5
計	6 3 3, 7 5 9	3 7 0, 9 8 8

〔註〕 そ上親魚数推定方法

さ け

さけそ上河川別に、ふ化事業のための実際の捕獲数を基礎として下記の算出方法を用いた。

1. 標識放流試験及びそ上調査結果を参考とする。
2. 捕獲方法、密漁状況、天然産卵状況を検討、河川別に捕獲数に対するそ上親魚数の係数を決める。
3. 過去のそ上調査、近接河川捕獲数、海区平均捕獲数等を参考として算出した。

さくらます、からふとます

北海道の全河川について調査し、そ上の認められる全河川について天然産卵状況、降下稚魚、やまべ釣り、密漁状況、聞き取り調査等を参考にして河川毎の平均的沂上推定数を出し、ふ化事業のための実際の捕獲数、海区平均捕獲数を参考として計算した。

川並びに之等と条件の類似している河川を含む。

よつて算出した。

出した。

さ く ら ま す		か ら ふ と ま す	
そ上親魚数（推定値）	ふ化放流のための捕獲親魚数	そ上親魚数（推定値）	ふ化放流のための捕獲親魚数
1 4, 9 0 4	7 2 7	9 5, 1 7 3	3 1, 3 7 5
1 1 4, 3 1 8	2, 1 4 1	6 5, 3 5 6	1 8, 1 2 4
1 5, 3 0 4	2 8 1	1, 4 8 5	5
1 4 4, 5 2 6	3, 1 4 9	1 6 2, 0 1 4	4 9, 5 0 4

数を決める。

下稚魚、やまべ釣り、密漁状況、聞き取り調査等を参考にして河川毎の平均的沂上推定数を出し

(2) サケ稚魚の生態調査

1) 稚魚の摂餌について

降海期のサケ稚魚の摂餌はユスリカの幼虫、蛹、成虫を主体にして、その他カワゲラ、トビケラ、カゲロウ等の底棲生物並びに陸上昆虫の捕食が見られた。時期的な摂餌量の割合、摂餌率は3～4月の間が最も高く(29.2～62.9%)、降海初期の2月(1.00～1.25%)、降海後期の5月下旬～6月(1.66～3.41%)には共に低いことが明らかにされた。初期の摂餌率の低いことは、稚魚の発育の不充分によるもの、そして後期の低率は餌料生物の羽化等による密度分布と深い関連があるものと考えられる。又場所的な摂餌率については一般に下流部は上流部に比べて低い傾向が認められた。

以上のことから現段階における稚魚の河川の放流管理については、早期に(2月～4月)上流、中流域に放流することが適当と考えられる。

2) 稚魚の発育過程における体成分の変化

孵化後、臍嚢吸収までの間、稚魚の成長過程における体水分量、総窒素量の変化を観察した。発生初期には水分は61.08%を示し、発育に伴って水分量は増加し、54日後(略臍嚢吸収)には、80.4～80.9%となり体重も増加する。

これに対して総窒素量は孵化時には8.9mgであるが、その後の発育に伴って漸次減少し、臍嚢吸収時には7.8～8.1mgと初期の総窒素量に対して9%～12%が少くなる。このことは孵化から臍嚢吸収までの間に運動その他生存に用するエネルギーとして消費されるためである。又、総窒素量並びに水分量は稚魚の臍嚢吸収迄に置かれる環境条件によつて差違が生じることが知られた。

(3) 天然繁殖調査

知内川の天然産卵床調査の水温分布、溶存酸素並びに水質について調査した。知内川の良好な天然産卵床の面積は、当初予想した面積より極めて小さいことが知られた。知内川の中流、下流域(約20km)の良好な産卵場所は5～7ヶ所でそれぞれの面積も約50m²～600m²の大きさで川岸より5～10mの範囲に形成される。そして産卵床を形成する地帯の湧水は、伏流水によるものと考えられる。調査をした産卵床地帯の水温は4.4～11.1℃、又PH(水素イオン濃度)は6.3～6.5、溶存酸素量は7.7～6.5 P.P.M、COD(化学的酸素要求量)は0.4612 P.P.M、C_ℓ(塩素)は13.89 P.P.M、NO₂-N(亜硝酸態窒素)は(-)、NO₃-N(硝酸態窒素)は

痕跡、NH₃-N(アンモニア態窒素)は(-) 一方河川水は水温2.7～4.3℃、PH6.9～7.0、酸素量は11.73～12.32 P.P.M、CODは0.692 P.P.M、NO₂-Nは(-)、NO₃-Nは痕跡、NH₃-Nは(-)、C_ℓは14.57 P.P.M、を示した。

以上から見て調査を行つた知内川の産卵床内の水温は河川水より高いことが判つた。しかし溶存酸素量は、河川水より低く、河川水のO₂飽和度90.6～94.5%に対して53.4～65.6%と約2/3の酸素量しかなく、PHも比較的酸性を示すことが明らかにされた。COD、NO₂-N、NH₃-Nは河川水、産卵床内ともに低く清麗である。

又、産卵床として水温、砂礫組成、河川水の流速などの面から良い条件と考えられるにもかかわらず、O₂量2.00～4.4 P.P.M、PH5.8と産卵床地帯のO₂量、PHが低く示された場所には、天然産卵床並びに産卵行動の形跡が全く認められなかつた。このことから天然産卵の場合その選択条件は水温以外の環境条件(O₂量、PHその他)も密接な関係があるものと推察された。

(4) 鮭稚魚標識放流試験

昭和37年度は昭和33年に標津川より放流した標識鮭稚魚が5年群として、又、十勝川支流面川より放流したものが3年群として回帰する年に相当するので、北見、根室、十勝方面に重点をおき各地に再捕方を依頼し、現在迄に鮭697尾(符票を附した魚も含む)樺太鱒13尾の報告を受けている。さけについては、標津川及十勝川より放流せる魚体(そうでないと思われるものも含む)の再捕場所別捕獲数次の通り。

標津川(513,000尾放流、5年群) 十勝川(788,000尾放流、3年群)

枝幸沿岸	1尾	標津川	1尾
勇別川	1	十勝川	27
斜里川	2	計	28
羅臼川	2		
崎無異川	1		
蕨別川	2		
標津沿岸	312		
標津川	126		
別海沿岸	86		
西別川	3		

風連川	3尾
厚岸沿岸	1
十勝川	2
計	542

なお、孵化場で実施したものではないが北洋鮭鱒の附票による標識魚の再捕は次の通り

鮭	日本の機関が実施したもの	3尾
	米国	5
	カナダ	1
樺太鱒	日本の機関が実施したもの	1

これらのほかに北洋鮭鱒流網で捕獲された鱒の異常（欠損）魚として約800尾の報告を得ている。

(5) 勇払川における養殖調整試験

昭和31年より昭和37年までの7カ年間における調査結果は次の通りである。

① 年別の捕獲、採卵数及び調整事項

年次	♀	♂	計	採卵数
昭和31年	578	808	1,386	—
昭和32年	1,416	1,890	3,306	—
昭和33年	2,567	2,860	5,427	4,680,200
昭和34年	1,121	882	2,003	—
昭和35年	143	185	328	429,250
昭和36年	516	747	1,263	900,500
昭和37年	955	1,313	2,268	2,159,100

② 湖上親魚の年令組成

年次	2年	3年	4年	5年
昭和31年	3.1	68.8	22.5	5.4
昭和32年	3.2	73.5	22.2	1.0
昭和33年	(—)	77.9	22.0	0.1
昭和34年	(—)	(1.6)	98.4	—
昭和35年	36.1	(5.9)	(44.1)	13.9
昭和36年	2.9	94.1	(2.9)	(0.1)
昭和37年				()

調整事項	影響年度	出現しない年令群
全数取上げ 放流なし(稚魚)	昭和33年	2年魚
“ “	昭和34年	2. 3年魚
3,129,600尾放流	昭和35年	3. 4 “
自然養殖(発生量不明)	昭和36年	4. 5 “
394,300尾放流	昭和37年	5. 6 “
374,845尾放流(内324,845尾標識)	昭和38年	6年魚
1,176,500尾放流		

6年	調査尾数	備考
0.2	1,319	平常年の年令組成
0.1	3,181	同上
—	2,534	調整の影響をうける年、()内は現われない年令
—	447	
—	288	
—	1,172	
()		

※ 前頁表の通り勇払川における平常年の年令組成は3年魚が主群をなしている。調整の結果についてみると、昭和35年度を除いて、ほぼその目的を達している。昭和35年度の4年魚44.1%の出現は、全体の捕獲数が著しく少い点から見て調整の目的は達していると考えられるので、多分昭和31年度の捕獲事業終了後に沂上したものか或は捕獲もれ魚の天然産卵による影響ではないかと思われる。

③ 孕卵数 1955～1958年の4ケ年間の平均孕卵数は3,109(範囲625～4,877) 詳細の分析結果については今後の調査結果と併せ後日報告する予定である。

勇払川に於ける鮭稚魚の降河に関する試験

稚魚の算定と測定、共棲生物の調査及び気象水理関係の観測を行なった。

その結果の概要は次の通りである。

人工ふ化の稚魚に標識を施し(一部未標識)美々川の上流部から放流した。

最初の放流は4月16日で、以後2週間のあいだに2回放流した。

稚魚の採捕には、トラップ(口径60cm)を使用し、美々川(2ヶ)、勇払川(2ヶ)の2地点で行なった。採取稚魚数は美々川で約1,700尾、勇払川で約2,700尾であつた。

4月16日の最初の放流以来、美々川では放流後2～3日に採捕のピークがあり、それ以外は平均した採捕があつた。また勇払川では早いものは4月中に捕獲場の地点まで降河したものが若干あつたが、群としてこの地点を大量に通過したのは放流日から約3週間たつた5月上旬の後半であつた。又稚魚の最終採捕期日について見ると、美々川では6月13日、勇払川は6月30日であり、これらのことからウトナイ沼の最大滞留期間は約2週間と考えられる。

稚魚の大きさについては、一部の稚魚の測定値では美々川を通過する稚魚は34.5～36.4mmにモードがある群が殆んどであるが、勇払川の間に成長する度合は極めて大きく約2週間前後で15mm内外の成長を示すことが知られた。

(4) 錦多峰川に於ける鮭の生産に関する試験

37年度においては、鮭の産卵から降海にいたる一連の生産過程のうち降海稚魚並びにその期間の餌料生物としての底棲生物、その他の物理的環境調査を行つた。

1. 稚魚の算定と測定

3月6日から4月30日までの間、上流に1ヶ、下流に2ヶのトラップを設置、降海する稚魚を採捕しその算定と測定を行つた。

a 降下稚魚群の構成

全長を例にとつてみると顕著な3つの傾向が見られた。即ち A) 3月上旬には3cm前後の小さいものが出現する。B) その後40mm前後のものが4月上旬に多数現われ C) その後45mm前後の大型の群が出現する。

A群はふ化後短時日のうちに降海し、C群はかなりの期間を上流(主として秋味沼)で摂餌したものと推定されるが、これらの群と比較して数的に多いB群は、時期的に於ても錦多峰川の主要な降河群とみることが出来る。

b 稚魚の大きさ

天然産卵の稚魚がどれくらい大きくなつて降海するかということは、1年の結果だけで簡単には解明できないが、全長の分布をみると40.5～42.4mmに大きなモード(47尾)があり次に52.5～54.4mmにもう一つのモード(8尾)があつた。したがつて本年の稚魚は40mm前後のものが大部分であるが、しかし後者の群は数は僅少だが前者の群に比べ10mmも大きくその活動力からいっても生理的にも生存能力の大きい群であると考えられる。

体重についても体長と同じ傾向がみられ0.4gと1.1gにモードがあつた。

c 飼料

胃内容物については底棲生物の調査の結果と併せて検討中である。

2. 共棲底棲生物

鮭稚魚の主として捕食者である共棲生物についてはトラップに混入したものだけについて採取し、曳網などによる積極的な採取は行わなかつた。種類としては、イトヨハナカジカがとくに多いことから卵或は稚魚の捕食者と見られるものがみあたらなかつた。

これらのものの胃内容物の検査は未了である。又、底棲生物については36年秋と37年春の2回2～11ヶ所において行つたが、資料の分析は未了である。

3. 物理的環境の観測

a 水温

稚魚降河期の水温は9℃から14℃までであり稚魚の滞留は他河川よりも季節的に早い月で終ると予想される。

b 水質

採水地点は4ヶ所であるが、それぞれの分析地には大きな差はなかつた。

全体としてC.O.Dの値からみてもきわめてきれいな水である。

(7) 漁獲物組成調査(さけ、ます親魚の魚体測定調査)

道内主要河川16河川について300～500尾の魚体測定並びに採鱗を行った。

36年度の年令組成は次の通りである。なお、37年の資料は現在整理中であるので後日報告する。又、33, 34, 35年度の年令, 体長, 体重組成については、年度内に印刷、報告の予定である。

36年度の年令組成

河川名	2年魚		3年魚		4年魚		5年魚		6年魚		調査数
	%	尾数	%	尾数	%	尾数	%	尾数	%	尾数	
石狩川	0.8	(2)	23.2	(58)	40.4	(101)	35.6	(89)	—	—	(250)
常呂川	6.5	(9)	42.4	(59)	50.4	(70)	3.7	(1)	—	—	(139)
西別川	0.3	(1)	19.8	(69)	72.5	(253)	0.9	(24)	1.5	(2)	(349)
十勝川	1.2	(5)	7.5	(29)	65.5	(254)	25.8	(100)	—	—	(338)
知内川	4.8	(13)	34.3	(92)	49.3	(132)	11.6	(31)	—	—	(268)

種族系統調査

この調査は種族並びに系統関係を明らかにするために34年度より知内川を中心とした4河川(知内川, 茂辺地川, 遊楽部川, 勇払川)について継続的に行われて来たが、本年も引続き各河川100尾の魚体測定, 採鱗並びに形質(9ヶ所)の計測を行った。詳細についてはさきに行われた(29年～33年までの5カ年)調査と併せ分析中である。

なお、37年度の雌雄別調査尾数並びにフォーク・レンジスの分布範囲は次の通りであった。

河川名	調査尾数			フォーク・レンジスの分布範囲
	♀	♂	計	
知内川	49	51	100	49.5cm～82.9cm
茂辺地川	57	43	100	44.5～75.5
遊楽部川	52	48	100	50.8～75.5
勇払川	48	52	100	56.0～72.0

(8) アメリカ産マスノスケ飼育放流試験

アメリカワシントン州の州立グリーン・リバー鮭ふ化場から第4回月のマスノスケ秋仔卵が100,000粒が移殖されたが、本年度は直接十勝支場札内事業場に収容し、孚上後サケと同じ方法で55日間給餌飼育後昭和38年5月3日十勝川に放流した。

孚上時の1尾平均全長は4.2cm、体重0.55grであつたが、55日目の放流時は全長5.9cm、体重1.65grであつた。また昭和36年秋の移殖卵は、孚上後昭和37年4月25日まで千才支場飼育場で飼育し、4月26日十勝川まで小型トラックで陸上輸送の上放流した。その時の平均体長は4.7cm、体重0.9grであつた。本年は初回に放流したものが若令魚として沿岸及び河川に溯上する可能性があり、又前年度の放流稚魚が釣師等に捕えられる事も考えられるので、十勝管内関係者に「米国産マスノスケ放流について」なるパンフレット並びに「マスノスケ再捕について」というガリ印刷物8頁のものを配布し、再捕発見に努めたが、若令回帰魚は発見出来なかつた。しかし河川内の幼魚は数尾再捕された。

移殖卵放流成績

移殖年次	移殖卵数	死卵数	ふ出尾数	放流年月	放流尾数	備 考
昭和34	100000	2100	97900	昭和35.3	62000	全数標識 十勝川に放流 30,000尾千才で淡水飼育
35	50000	50	49950	" 36.11	12000	千才支場で飼育後十勝川に放流 (一部標識)
36	100000			" 37.4	72000	同 上
37	100000	1000	99000	" 38.5	96900	無標識 飼育後十勝川に放流
計	350000				242900	

(9) サケ属交配試験

1. カラフトマスとサケ交配種作成調査

昨36年度に引続き37年度も北見支場管内幌内川捕獲場に於て、幌内川産カラフトマスとサケの交配種試験を実施して次の結果を得た。交配種作成に使用した親魚数はサケ46尾

(♂8尾、♀38尾)及びカラフトマス73尾(♂15尾、♀58尾)計109尾である。

組合せは両種相互2組として各組100,000粒を得た。ふ化放流の成績は下表に示す通りである。

○ サケ(♀)×カラフト(♂)

採卵月日	発眼月日	孚出月日	収容卵数	死卵数	孚出尾数	孚出%	放流数
9.24	10.13	11.5~11.9	2082	412	1760	80.22	
10.2	10.22	11.4~11.17	14080	270	13810	98.08	
10.5	10.27	11.19~11.23	21,480	3,474	18006	83.78	
10.10	10.31	11.24~11.27	62358	1,314	61,044	97.89	
計			100000	5,470	94530	94.53	90343

○ カラフト(♀)×サケ(♂)

採卵月日	発眼月日	孚出月日	収容卵数	死卵数	孚出尾数	孚出%	放流数
9.24	10.19	11.14~11.18	26233	3,620	22613	86.24	
9.28	10.23	11.19~11.24	73767	4870	68897	93.16	
計			100000	8,490	91,610	91.50	58250

平均ふ化率をみると、前者は94.53%、後者は91.51%で共に良好であり、これを細胞学的に見ても、各卵の受精及び精核、卵核の卵内の移動、合一は正常卵のそれと何等孫色が認められない。然しその後ふ化までの発生過程に於いてカラフトマス(♀)×サケ(♂)卵の死卵数が増加し、その逆交配は成績も良好であつた。この傾向は昨36年度同様であつた。

この点については今後細胞学的な詳細な検討が必要である。出した稚魚は幌内事業場湧水池に4坪の飼育そうを作成、別個に飼育後放流したが、サケ(♀)×カラフト(♂)では、この科独特の体側に斑紋がないものが多く、一部サケの様な斑紋があるものを認めた。

(10) 釧路川工場廃液の生物に対する影響調査

釧路川はフツチャロ湖に水源を発し弟子屈温泉地域を通り礎分内、標茶、茅沼等を経て釧路で海に開口する。延長80kmに達する道内有数の大川である。

この川は上流から当別川、仁田川、礎分内川、タフ川、オソベツ川、雪裡川の分支流を合せ、毎年

大量のサケのそ上があり、茅沼において親魚を捕獲し、人工孵化事業が行われている。

酸性の強いフツチャロ湖の影響を受けて、上流地区はやゝ酸性が強く(PH 6.0)、礎分内附近でやゝアルカリ性を呈し(PH 8.6)、河口附近では再び酸性が強くなっている(PH 6.4)。酸素量(D.O)は一般河川同様10~13 P.P.mを示しているが、河口においては十条製紙廃液の影響を受けて著しく低下(4.53 P.P.m)している。

また礎分内の廃水は5.34 P.P.m、十条製紙の廃液は殆んど0であつた。

これらの廃液を利用してシシヤモを飼育し、その48時間半数致死限界を調べた結果は次の通りである。

廃液濃度	1	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32
礎分内製糖廃液	25分半数	30分半数	45分半数	1時15分半数	1時15分半数	6始半数
	30分全数	40分全数	1時35分全数	1時55分全数	1時55分全数	
十条製紙廃液	1時40分半数	13時半数	43時半数			
	3時10分全数	22時全数				

上記の結果から礎分内製糖廃液は32倍、十条製紙廃液は4倍程度が48時間半数死亡限界(T.L.M)と見られる。

(11) 網走湖の汚染化と湖内遊泳生物の遷移

網走湖は最近日甜美幌工場の排水が流入し、また澱粉工場の建設の計画もある。湖が汚染化して漁獲物の減少してしまつた結果のみを調査することは多いが、遊泳生物がどのような過程を経てその群集組成が遷移してゆくか今迄調査されていない。網走川のサケの漁獲が割合安定しているのは、サケ稚魚の生育湖として湖が大きい役割を演じていると考え、特にサケ稚魚に主眼をおいて、その遷移を調査した。

網走湖畔呼人西網走漁業組合前浜で長さ120間、沖出し100間のワカサギ曳網を引いてその中の漁獲物組成を調べた。

その結果はほぼ推定出来ることは次の通りであつた。

1. サケ稚魚は5月末ではワカサギ、ハゼ類に次いで順位3の混入を示している。
2. 同一場所を3回曳いた結果、サケ稚魚は1回目、2回目、3回目と混入数が漸減して、一時逗留者としての特徴を示している。
3. 6月初旬になるとサケ稚魚の混入数は減少してくる。

4. 環境条件との関係は、まだ推論できない。

(12) 支笏湖のヒメマスに関する調査

1) 漁獲量及び魚体測定調査

本年の総釣漁獲量の概数は約50万尾であり、秋親魚として孵化場で捕獲した尾数は37,545尾(♀20,064 ♂17,479)で、最近に於ける豊漁であつた。前年秋から産卵前までの測定結果(520尾)では大部分が本年の4年魚で、5年魚は僅かであつた。

従つて本年の釣獲魚及び密漁魚の大部分は4年魚と推定される。秋に捕獲した産卵群♀328尾、♂261尾の測定結果でも、大部分が4年魚(3年魚はなく、5年魚が数尾の出現)であつた。産卵親魚の平均体長♀: 23.42cm(22.1~26.0cm)、♂: 23.5cm(22.1~26.0cm)、平均体重: ♀ 199.4g(170~247g)、♂ 198.1g(150~240g)で、前年の産卵群(平均体長 ♀25.93cm、♂24.39cm、体重♀254.1g、♂203.2g)に比較して遙かに小型で、昭和29年以来の最小形であつた。尚、秋から昭和38年2月までの採集測定の結果では、測定魚中昭和38年の5年魚が10%程度見出されているので、昭和38年秋産卵親魚及び釣獲される魚の中に10~20%程度の5年魚が混入するものと考えられる。

2) ギンケの流下現象の観察結果

本年も昨年同様千才川口に設置したミゴ網の流下防止網を通過して大量(3~5万尾程度と考えられる)の流下があり、河口約500m下流の細目刺網で6月15日~7月6日の間に約12,000尾を採集した。流下魚の大部分は3年魚で、小数の4年魚が6月中旬に流下したのが認められた。昭和27年以降本年までの流下状況の変動から、流下本能は湖の冬~春の餌料プランクトンの量が比較的富んで居る時は弱く、貧弱な年に強い事が認められた。

尚、流下魚は生殖巣が湖内の同年魚に比較して極めて貧弱な個体であり、3年魚では前年同様♀が約60%を占めていた。

3) 湖水環境調査

湖内餌料条件として本年の特異な点は、Daphnia の出現が極めて貧弱となつて来た事で、これが冬~夏にかけてのヒメマスの生長が悪かつた原因となつており、又4~5月に餌を求めて大量の群が沿岸に停滞した原因と考えられる。

Acanthodiaptomus の発生は良好であつた。

支笏湖の溶存ケイ酸は15~40mg/lを含み、珪藻の繁殖を害するようなことはない。

可溶性無機態のPhosphate - p は非常にすくなく典型的な貧栄養湖である。

ここでPについて昭和35年から昭和36年にかけては、中層・底層に5~10ガンマー/l位含まれていた。しかし昭和37年夏の観測では全層0(0≤3ガンマー/l)であつた。これは魚類の生息尾数の多い年には湖水中のPが全部生体中に移行してしまつて溶存分が検出されなかつたのではないかと思われる。

支笏湖におけるN₀、-Nは非常に分布が複雑である。これは生物の利用、分解以外に流入河川、例えば孵化場の孵化用水であるシリセツナイ川には湖水に比し多量に含まれ、これらの流入分布により大きい影響を受けられる。したがつてN₀、-Nの分布には観測日前の降水等も考慮する必要がある。

4) クツトラ湖ヒメマスの観察結果

支笏湖のヒメマスに対比するためクツトラ湖のヒメマスについて白老漁協組合の協力を得て2~3の観察を行つたが、本湖のヒメマスは5年魚が比較的多く出現し、これが産卵群の主群と推定されるが、魚体の生長は悪く、5年魚で9月の体重は18~20cm、体重は90~100gで支笏湖で得られた最少親魚群であつた昭和28年の親魚にほぼ匹敵する。尚クツトラ湖の湖沼条件の観察結果では栄養分に極めて乏しく、植物のプランクトンの発生も極めて不良で、本湖に存するAcanthodiaptomus Pacificus は一般の湖沼では紅色を呈するのが普通であるが、本湖のでは触角に僅か色素を有する程度で体色は青白色を呈している。

5) ヒメマス天然産卵生態調査

実験水槽を用いてヒメマス親魚の産卵行動をヒルムに記録した。その行動はオンコリнкаス属と共通で、特に陸封ベニマスとしての特異点はつかめなかつた。

水槽内で産卵したが、水の供給故障で稚魚発生まで追跡できなかつた。

13 資料の刊行

事業，その他一般の参考に供するために下記の資料を印刷配布した。

標 題	番 号	発 行 月 日
魚 と 卵	94号～99号	昭和37年5月～38年3月
孵化場研究報告	16号	昭和37年12月
北海道・本州（東北6県，茨城，新潟） 主要河川に溯上するサケの年令組成及 び体長，体重組成について	109	昭和38年 3月